

図 4-9(2) ボーリングコア写真 (No. 280)

(参考資料 1 4) 液状化強度試験の詳細について

1. 盛土・旧表土のボーリング柱状図・コア写真

表 1-1 盛土・旧表土のボーリング一覧

Br孔名	盛土	旧表土	液状化強度試験との対応
PB-1	○	-	-
PB-2	○	-	-
PB-3	○	-	-
PB-4	○	-	-
25BW-1	○	-	-
25BW-4	○	-	-
25BW-5	○	-	-
25BW-6	○	○	-
25BW-7	○	-	-
25BW-8	○	○	-
25BW-9	○	○	-
25BW-10	○	○	-
25BW-11	○	○	-
25BW-12	○	○	-
25BW-13	○	○	-
25BW-14	○	○	-
25BW-15	○	-	-
25BW-16	○	-	-
25BW-17	○	-	-
25BW-18	○	○	-
25BW-19	○	○	-
25BW-20	○	○	-
25BW-21	○	○	-
25BW-22	○	-	-
25BW-23	○	-	-
25BW-24	○	-	-
28QB-1	○	○	A-2 (旧表土)
28QB-2	○	○	A-3 (旧表土)
28QB-3	○	○	-
28QB-4-1	○	○	A-4 (旧表土)
28QB-4	○	○	-
28QB-5	○	○	B-1 (盛土)
28QB-5-1	○	○	A-5 (旧表土)
28QB-6	○	○	A-6 (旧表土)
28QB-7	○	○	A-7 (旧表土)
28QB-8	○	○	B-2 (盛土)
P-3	○	○	-
P-6	○	○	-
SP-2	○	○	-
Fs-1	-	○	-
Fs-2	-	○	A-1 (旧表土)
Fs-3	-	○	-
D-1	○	○	-
No.1	○	○	-
No.2	○	○	-
23B-1	○	○	-
23B-4	○	○	-
23B-5	○	○	-
23B-6	○	○	-
23B-7	○	○	-
23B-9	○	○	-

※ 設置変更許可申請以降に実施した盛土の液状化強度試験箇所B-3～B-8については、G.L.付近から試料を採取したため、試験位置に対応するボーリングはない。

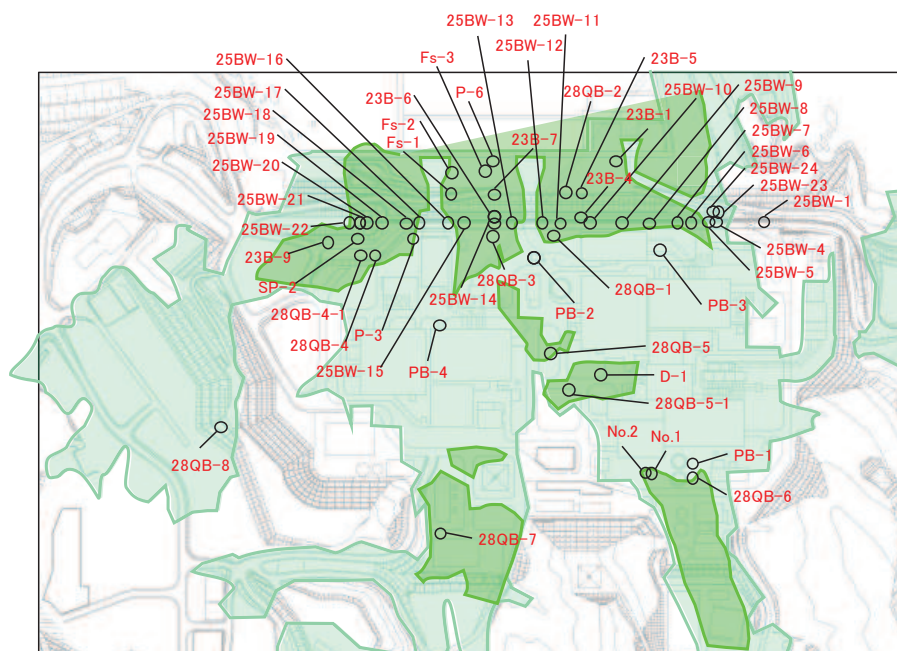


図 1-1 盛土・旧表土のボーリング位置図

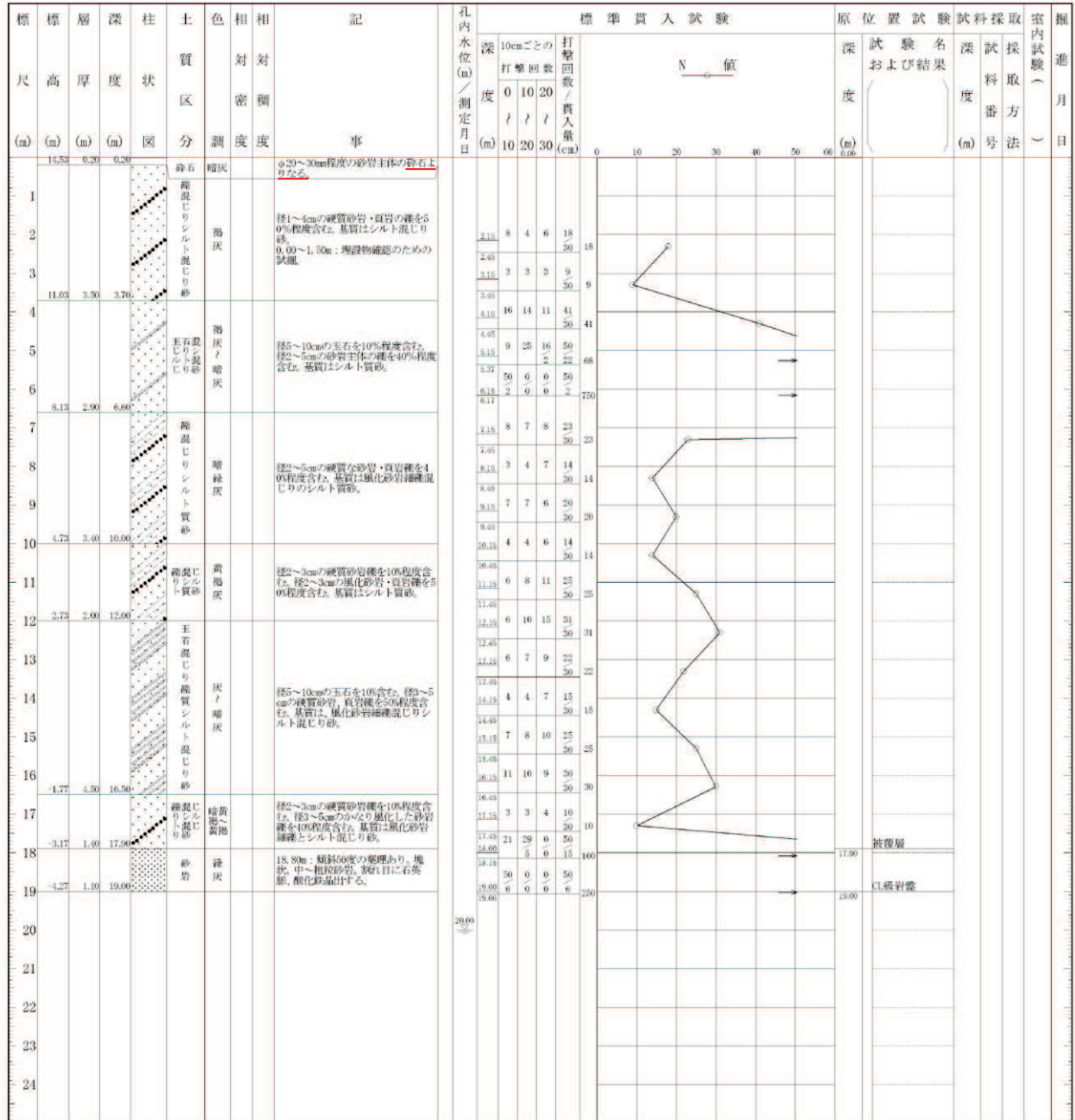


図 1-2(1) ボーリング柱状図 (PB-1) (盛土: 深度 0~17.90m)



図 1-2(2) ボーリングコア写真 (PB-1) (盛土：深度 0～17.90m)

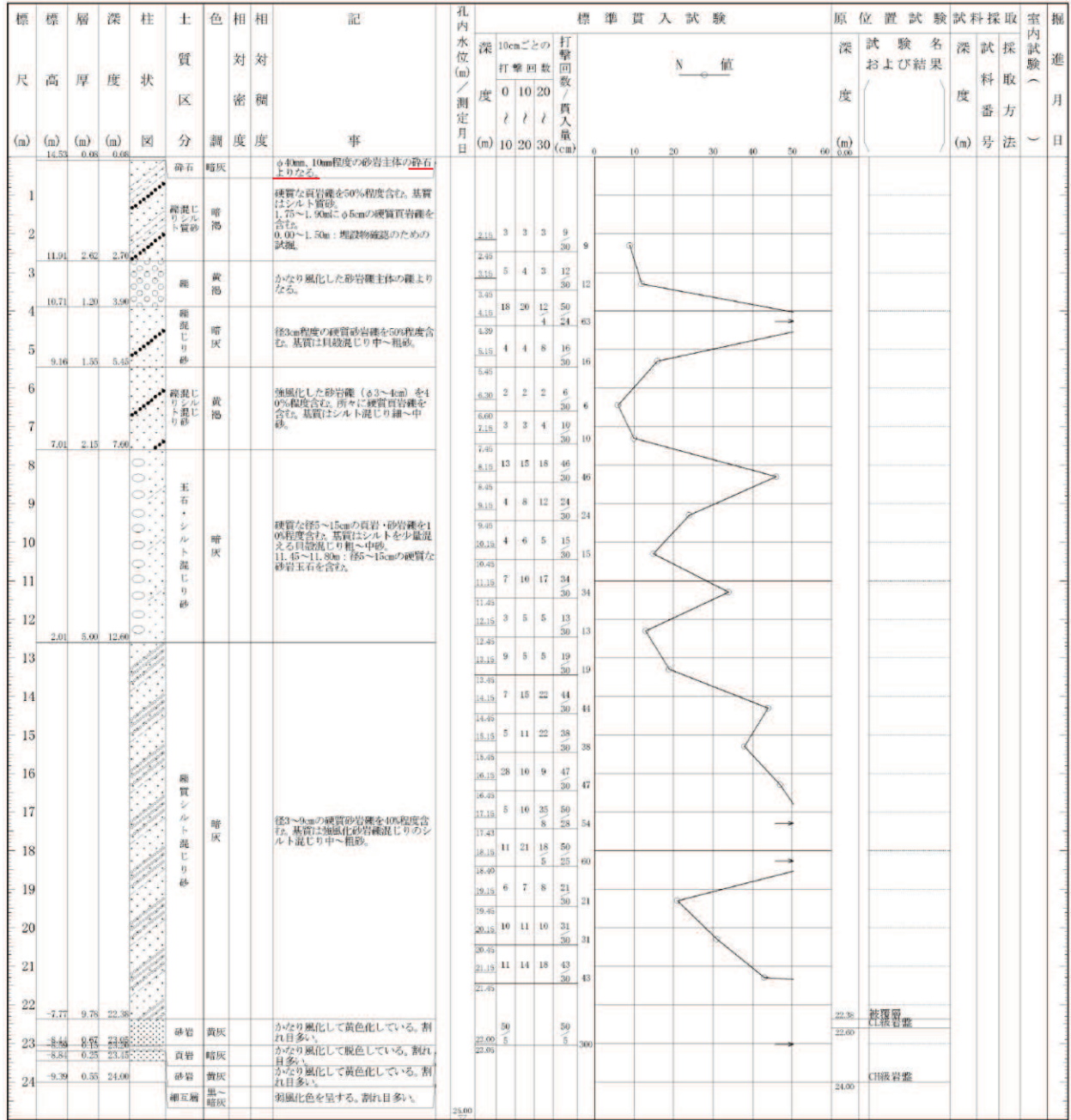


図 1-3(1) ボーリング柱状図 (PB-2) (盛土：深度 0~22.38m)



図 1-3(2) ボーリングコア写真 (PB-2) (盛土：深度 0～22.38m)

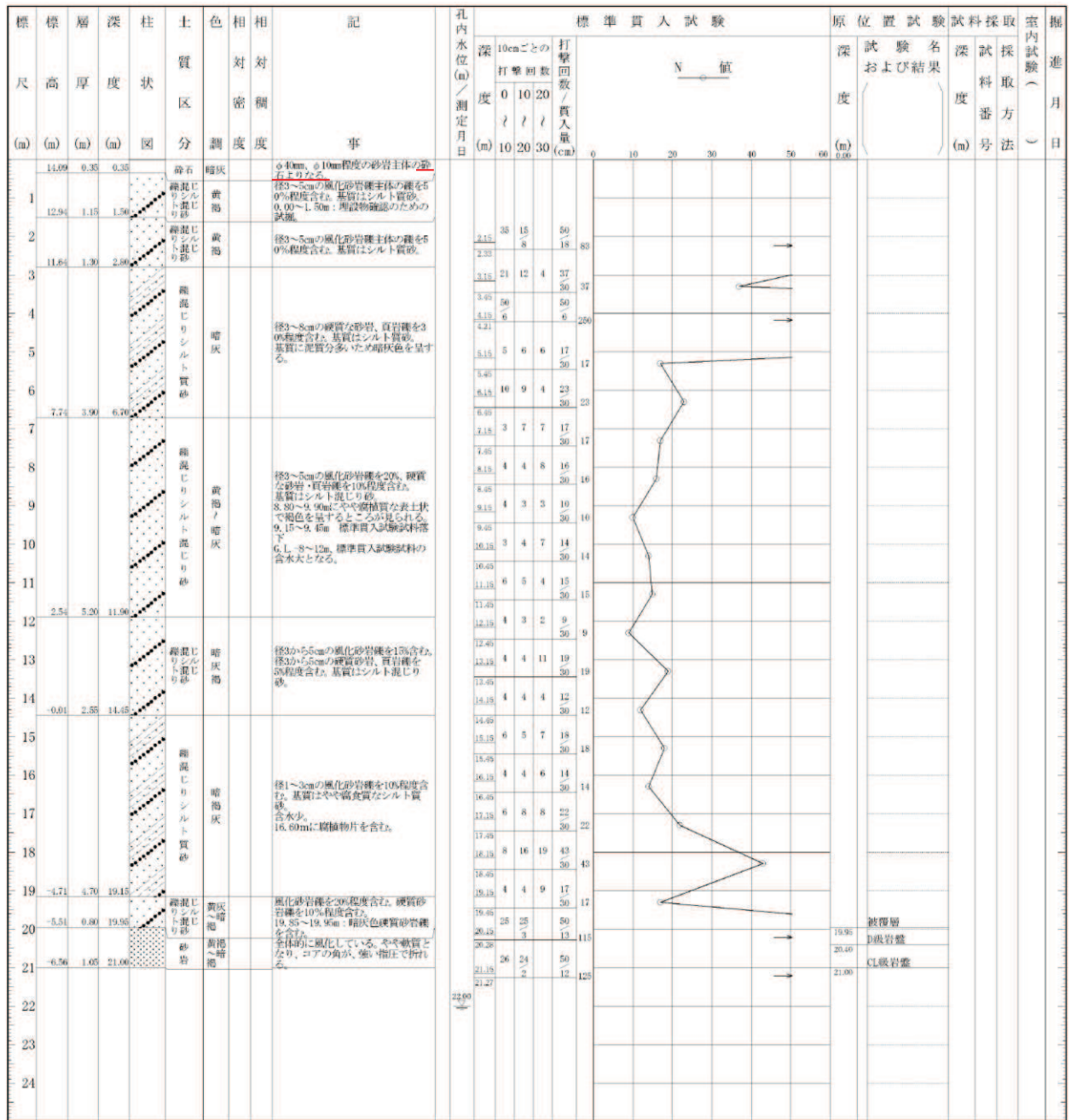


図 1-4(1) ボーリング柱状図 (PB-3) (盛土: 深度 0~19.95m)



図 1-4(2) ボーリングコア写真 (PB-3) (盛土：深度 0～19.95m)

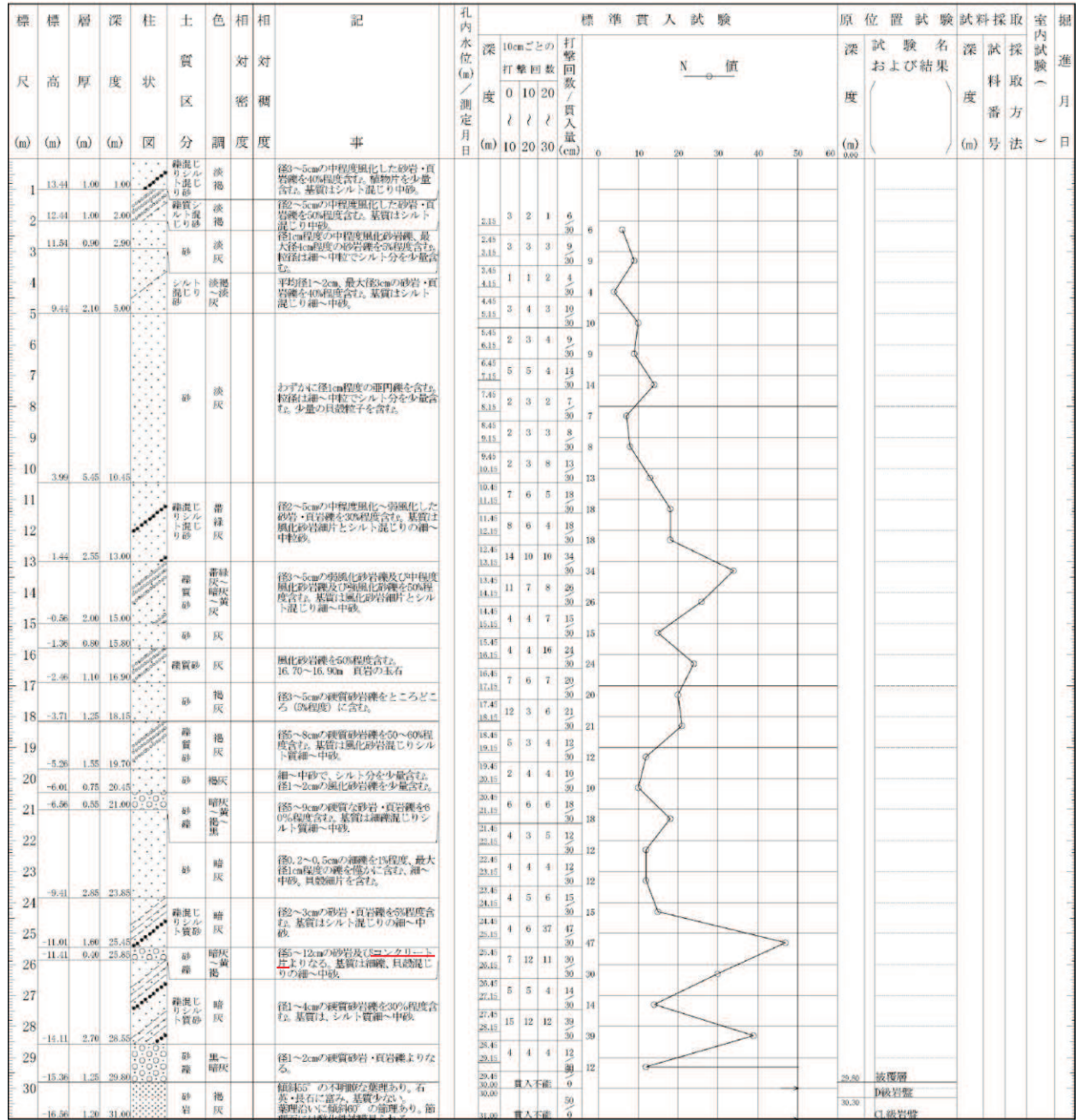


図 1-5(1) ボーリング柱状図 (PB-4) (盛土: 深度 0~29.80m)



図 1-5(2) ボーリングコア写真 (PB-4) (盛土：深度 0～29.80m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O. P. m)	柱状図	岩盤区分	岩質名	砂質の程度区分	色調	地層の傾斜	観察事項		割の風化 れ目治区 い分	風化度	コア形状	R O D N値 コア採取率	最大コア長 (m)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位		
									地質について	割れ目について											
0	0.30	13.41			砕石				0.00~0.30m: 砕石φ1~4cm												
	2.00	11.72			細粒じり砂質土				細灰 s 凝結灰											0.30~2.00m: 砕石+砂質土。径1~3cmで、角状の砂岩と頁岩、クラッシャーランカ。	
	3.55	10.17			砂礫				凝結灰											2.00~3.02m: 貝殻殻じり粗砂+礫。礫は0.5~3cmの巨角~角礫。風化砂岩礫。新鮮頁岩。礫の混入率は10~25%。	
	3.82	9.90			コンクリート				凝結灰											3.55~3.82m: コンクリート。	
	4.90	8.83	砂質じり砂 (埋戻し土)	凝結灰	3.82m以下: 砂質じり砂。径0.5~4cmの角礫。頁岩主体。混入率40~50%。																
5	5.17	8.55			砂岩			b85 ~90	4.90~5.17m: 長さ0.1~2cmのレンズ状頁岩片を水平方向に穿れる。		II ~ I III III II I										
	5.79	7.93			頁岩				凝結灰												5.17~5.79m: 砂岩の薄層を挟む。
	5.79	7.93			頁岩				凝結灰												5.79~6.00m: ひん岩と頁岩の接触部は分離し、角度は不明。
	5.79	7.93			頁岩				凝結灰												6.00~8.20m: 凝結灰。5.79~9.00m: 凝結灰である。
	8.20	7.38	凝結灰	凝結灰	8.20~9.00m: 凝結灰。5.79~9.00m: 凝結灰である。																
	9.00	4.72																			

図 1-6(1) ボーリング柱状図 (25BW-1) (盛土: 深度 0~4.90m)



図 1-6(2) ボーリングコア写真 (25BW-1) (盛土：深度 0～4.90m)

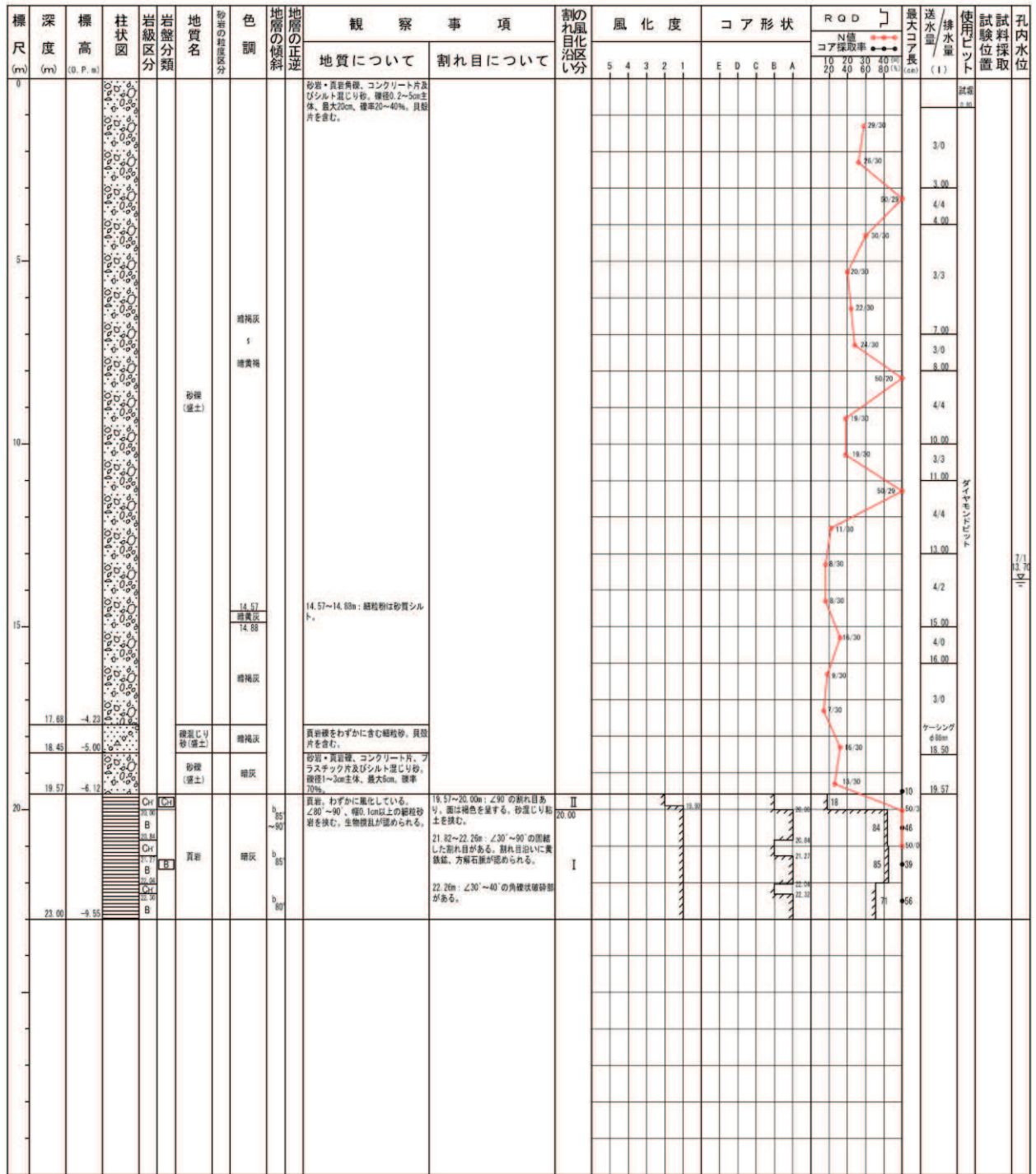


図 1-7(1) ボーリング柱状図 (25BW-4) (盛土：深度 0~19.57m)



図 1-7(1) ボーリングコア写真 (25BW-4) (盛土 : 深度 0~19.57m)

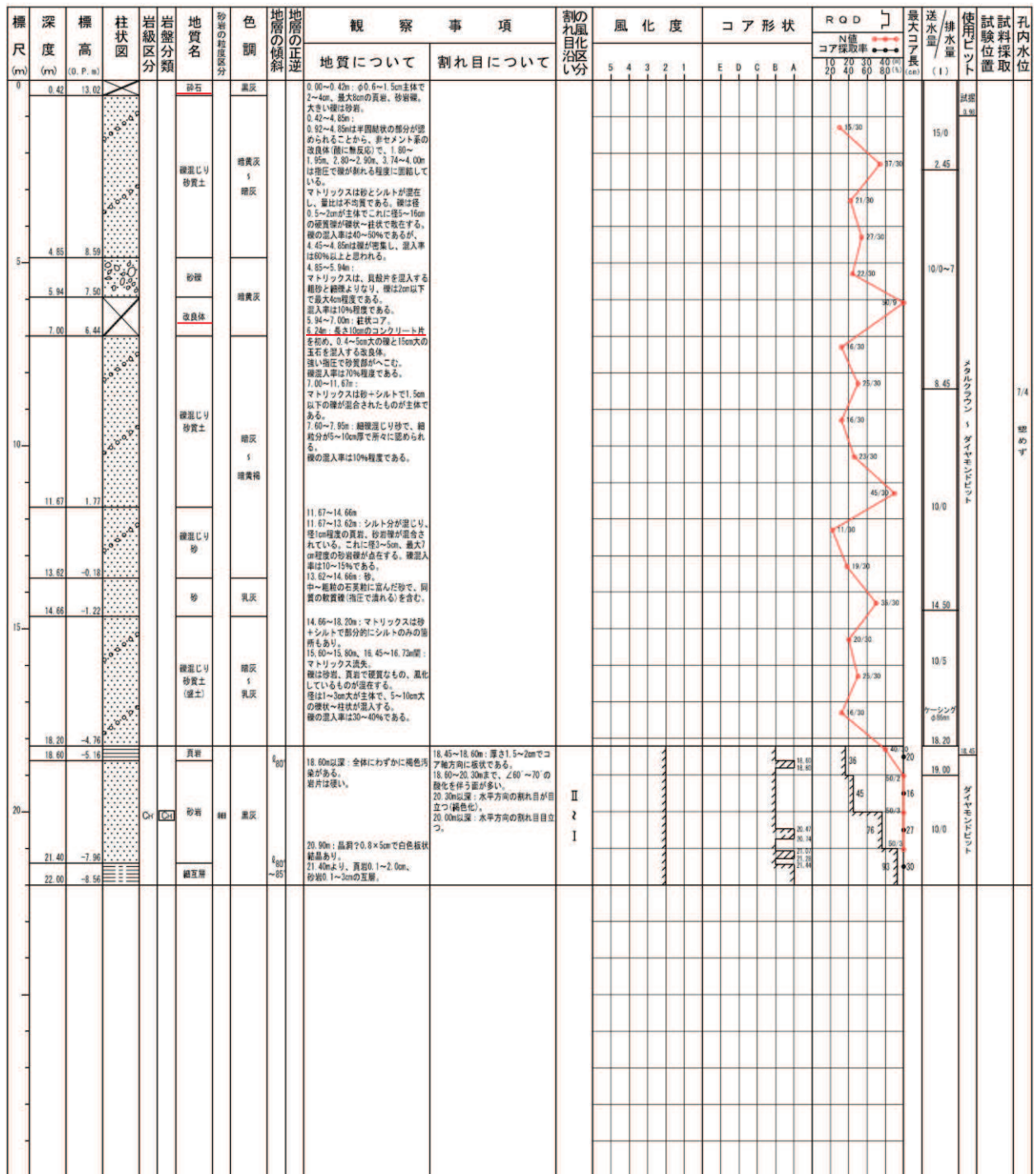


図 1-8(1) ボーリング柱状図 (25BW-5) (盛土: 深度 0~18.20m)



図 1-8(2) ボーリングコア写真 (25BW-5) (盛土: 深度 0~18.20m)

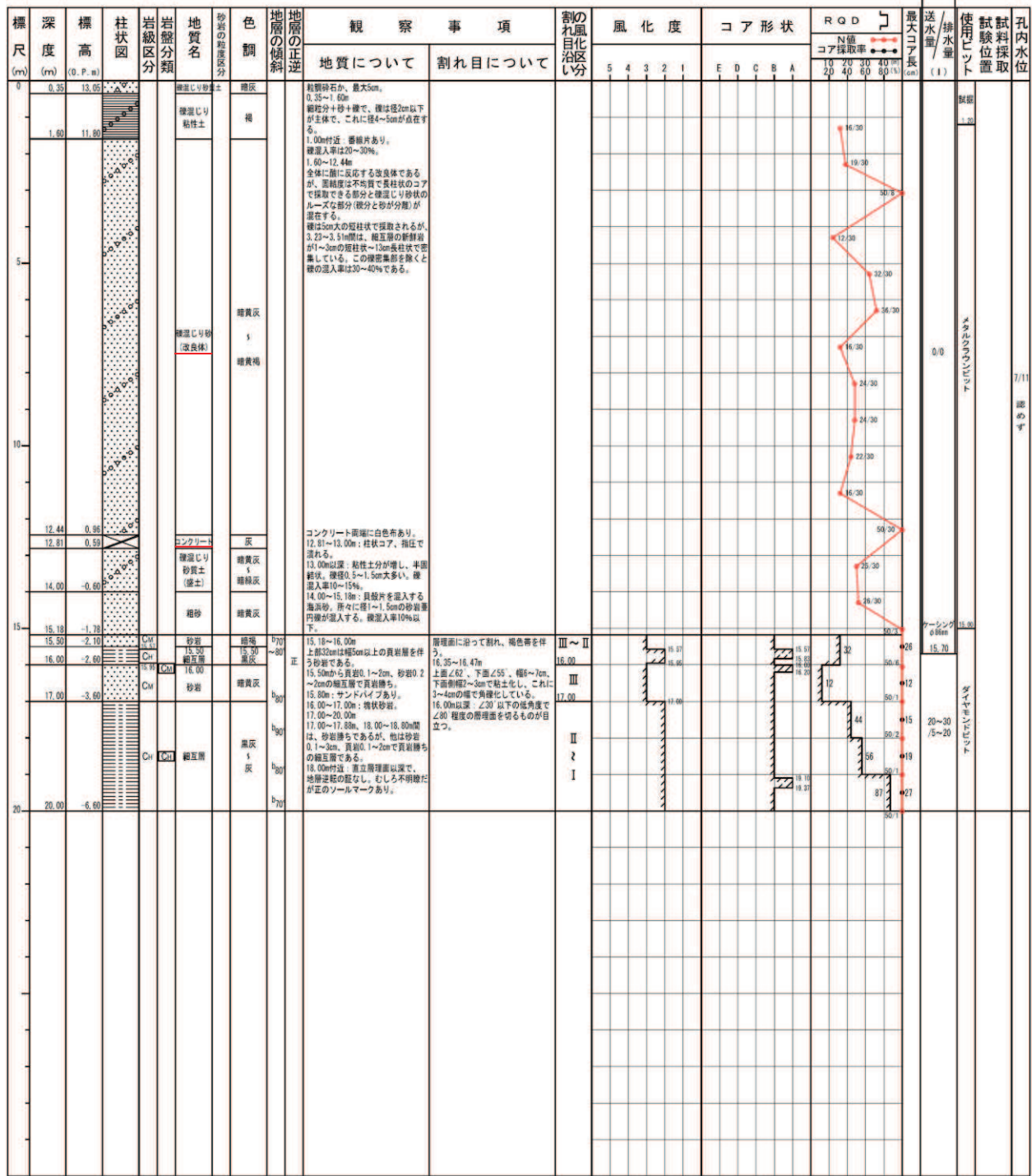


図 1-9(1) ボーリング柱状図 (25BW-6) (盛土: 深度 0~14.00m, 旧表土: 深度 14.00~15.18m)

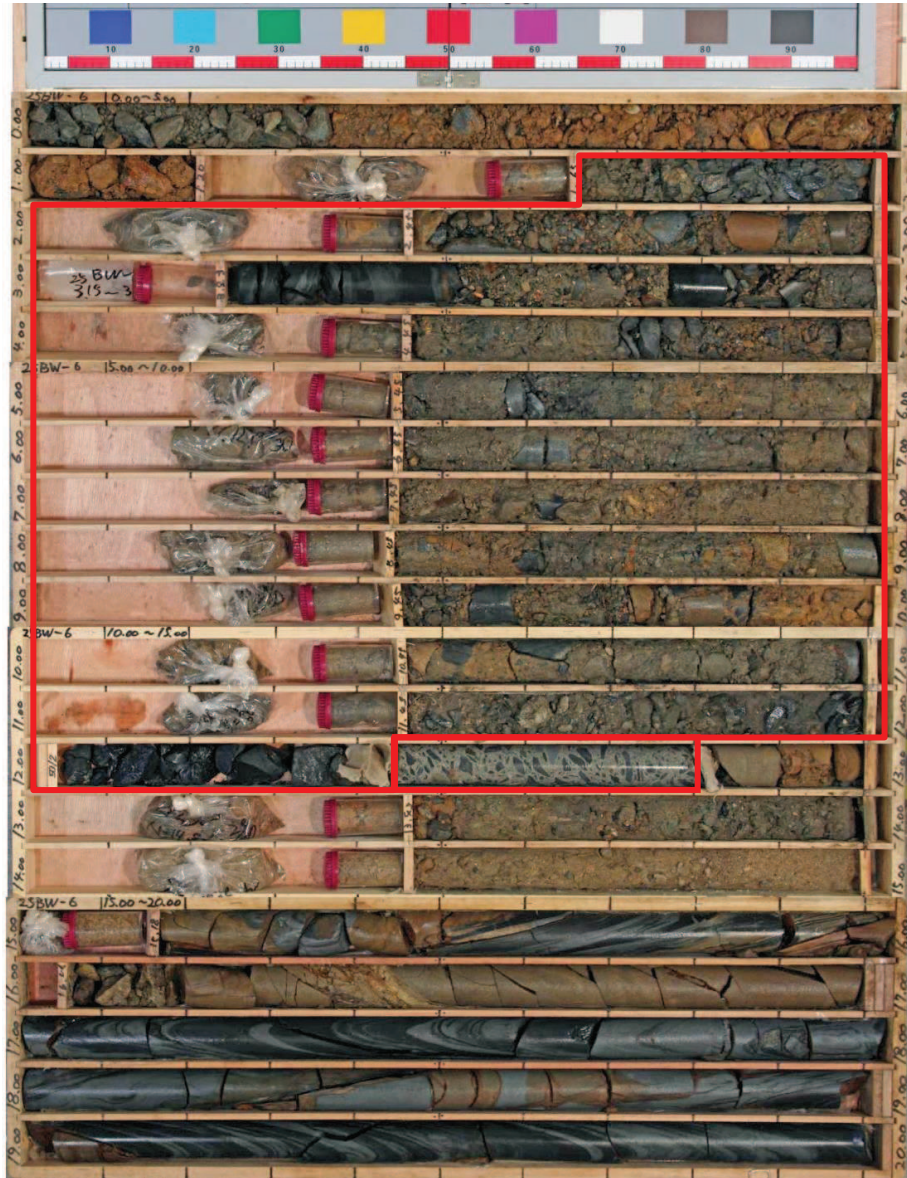


図 1-9(2) ボーリングコア写真 (25BW-6)
(盛土：深度 0～14.00m, 旧表土：深度 14.00～15.18m)

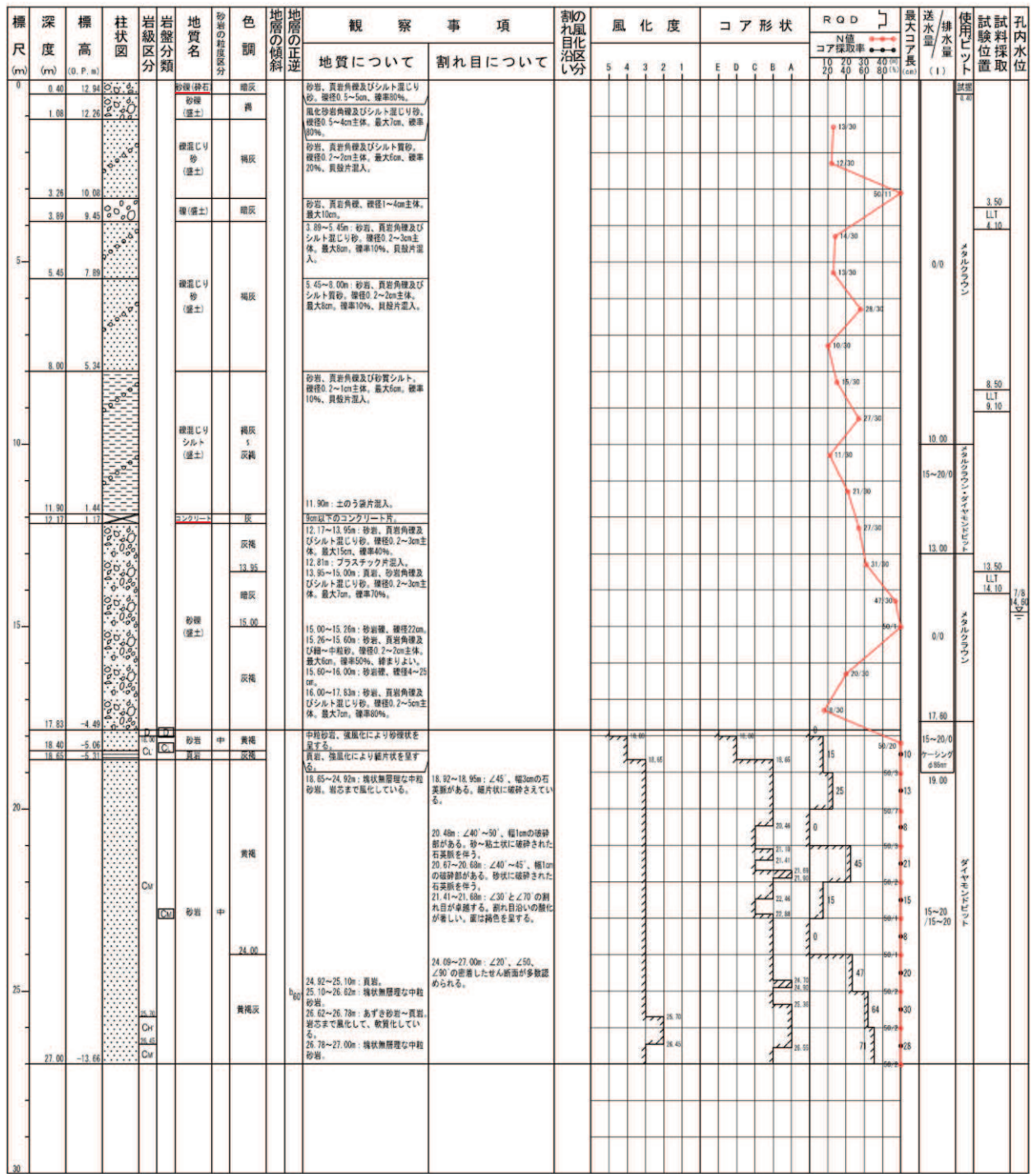


図 1-10(1) ボーリング柱状図 (25BW-7) (盛土: 深度 0~17.83m)



図 1-10(2) ボーリングコア写真 (25BW-7) (盛土：深度 0～17.83m)

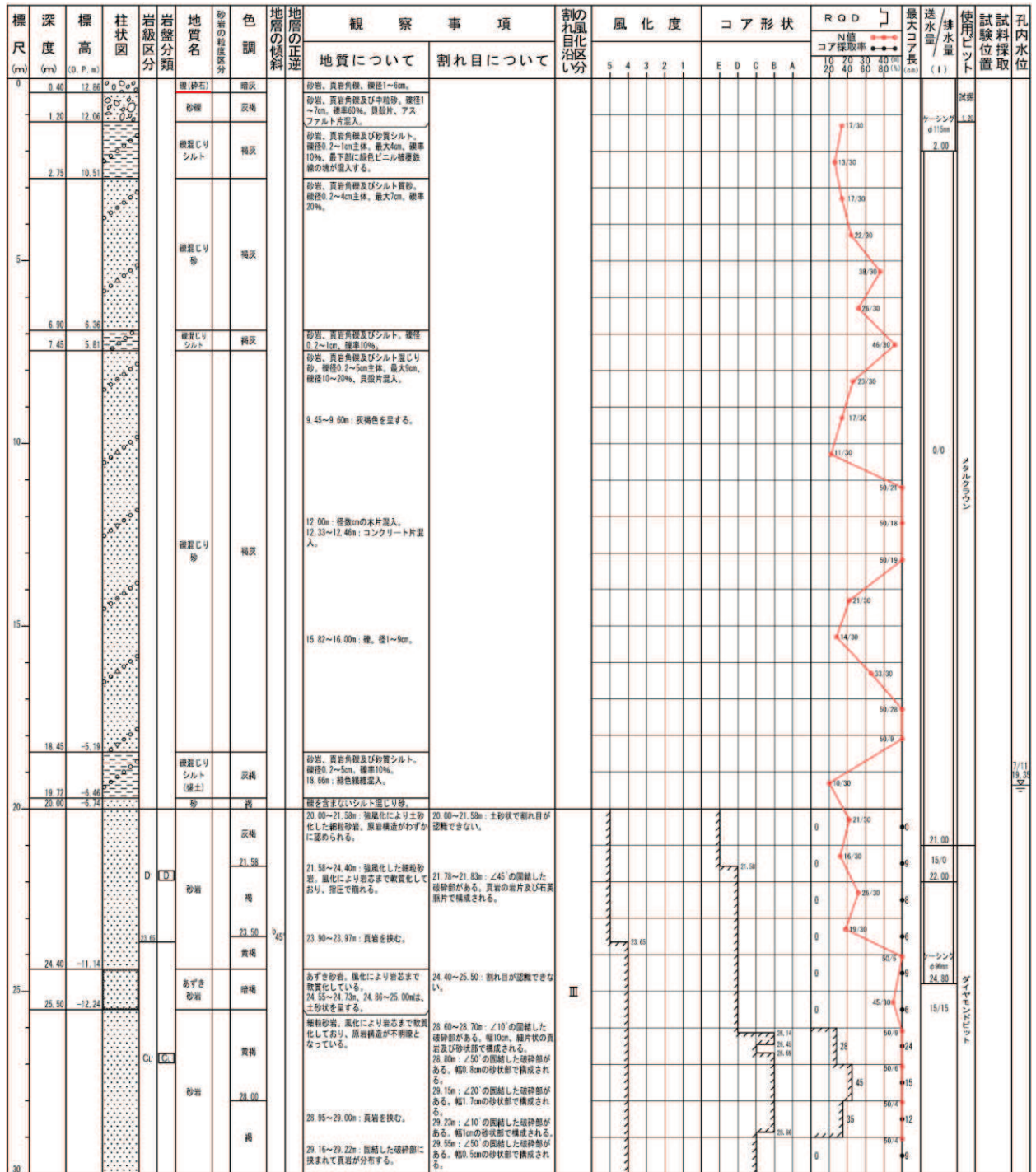


図 1-11(1) ボーリング柱状図 (25BW-8) (盛土: 深度 0~19.72m, 旧表土: 深度 19.72~20.00m)



図 1-11(2) ボーリングコア写真 (25BW-8)
(盛土：深度 0～19.72m, 旧表土：深度 19.72～20.00m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O.P.m)	柱状図	岩盤分類	地質名	色調	地層の傾斜	観察事項		割れ風化 目治区	風化度	コア形状	R Q D N値 コア採取率	最大コア長 (m)	排水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位
								地質について	割れ目について									
0					埋戻し土	黒灰		0.00~1.80m: アスファルト粒と砂岩層、厚さ5~1.5mのアスファルト粒片を主体に径1~2cm、最大1cmの砂岩層を混入。 1.00~1.20m: 硬直り粘性土(黄灰色)。 1.80~9.00m: 暗黄灰色~暗灰色を呈す硬直り砂質土と黄褐色~淡黄褐色を呈す砂が、厚さ1.5~120cmで互層状を呈す。 互層状の砂質土は、1.80~2.40m、2.80~2.85m、3.80~4.00m、4.70~5.95m及び7.80~8.80mで認められる。 7.00m付近以降では粘性土も混入する。埋戻し土と2cm大が10~20%で混入し、最大6cmが柱状コアで2.88m、8.55mで認められる。 砂質土は、縦~粗砂で見出し、1.5~2cm大以下の貫形片層~角縁を10%以下で混入する他、3.72~4.48m間は砂質の底石が認められる。 9.00~13.00m: マトリックスは、シルト混じり砂で硬直りを呈する。縦は2.5cm以下が多く、最大6cmが点在し、混入率は10~20%である。 10.55m: 台板の本種様あり。 11.85m: 5cm大の砂岩層2ヶ。 13.45~13.58m: 径2~5cm大の砂岩層混在。 13.85m: 長さ5cmの短柱状コア、砂岩層。 14.00~19.00m: マトリックスは、上層に比べ細粒分が多くなるが、一部粗粒分多くなり、砂質土となる箇所が点在する。 縦は埋戻し土と2cm大の貫形片層を呈する。混入率は20~30%であるが、密集層もある。 17.83~17.70m: コンクリート片、φ5cm、φ3cm。 18.55~19.00m: 埋戻しコンクリート片が径2~4cmで密集し、混入率は40~50%と多くなる。 19.00~20.73m: マトリックスは、砂+シルト+1cm以下の細粒よりなり、それに埋戻し土と2cm大の風化砂岩。貫入率が10%以下で混入。 19.85、19.88m: プルネット片や白色化学繊維混入。 20.72~22.35m: 21.48~21.70m間: 暗粘性土、径0.5~1cm風化砂岩。砂は中砂で径1cm以下の砂が点在。シルト分が混入。 22.35~28.90m: 塊状な砂岩で一部貫形の層を挟む。28.00~28.90m間は、へび頭砂岩層を呈する。岩片は下位で緩くなる傾向がある。 24.55~24.85m: ∠65°~70°と∠40°が切り合っている。 25.75m: ∠45°、面のみ。 27.30~27.60m: ∠40°~50°が目立つ。 28.90~30.80m: 29.50~30.00m: コア採取時コア崩壊し、回収した。		S 4 3 2 1	E D C B A	10 20 30 40 50 60 70 80 90 10 20 30 40 50 60 70 80 90	0/0 3.15 15/10 3.90 0/0 φ89mm 0/0 17.30 18.30 19.30 20.30 21.30	0/0 15/10 3.90 0/0 φ89mm 0/0 17.30 18.30 19.30 20.30 21.30	試掘 1.0m メタルビット ダイヤ メタルラフ ケーシング 6/21 20.85 22.00			
25					砂岩	赤褐 s 黄褐	正	22.35~28.90m: 塊状な砂岩で一部貫形の層を挟む。28.00~28.90m間は、へび頭砂岩層を呈する。岩片は下位で緩くなる傾向がある。 24.55~24.85m: ∠65°~70°と∠40°が切り合っている。 25.75m: ∠45°、面のみ。 27.30~27.60m: ∠40°~50°が目立つ。 28.90~30.80m: 29.50~30.00m: コア採取時コア崩壊し、回収した。		III		0 17 4 24	23.00 23.25 15/0 26.00 10/0	23.00 23.25 15/0 26.00 10/0	ダイヤビット 28.80			

図 1-12(1) ボーリング柱状図 (25BW-9) (盛土: 深度 0~20.73m, 旧表土: 深度 20.73~22.35m)



図 1-12(2) ボーリングコア写真 (25BW-9)
 (盛土：深度 0～20.73m, 旧表土：深度 20.73～22.35m)

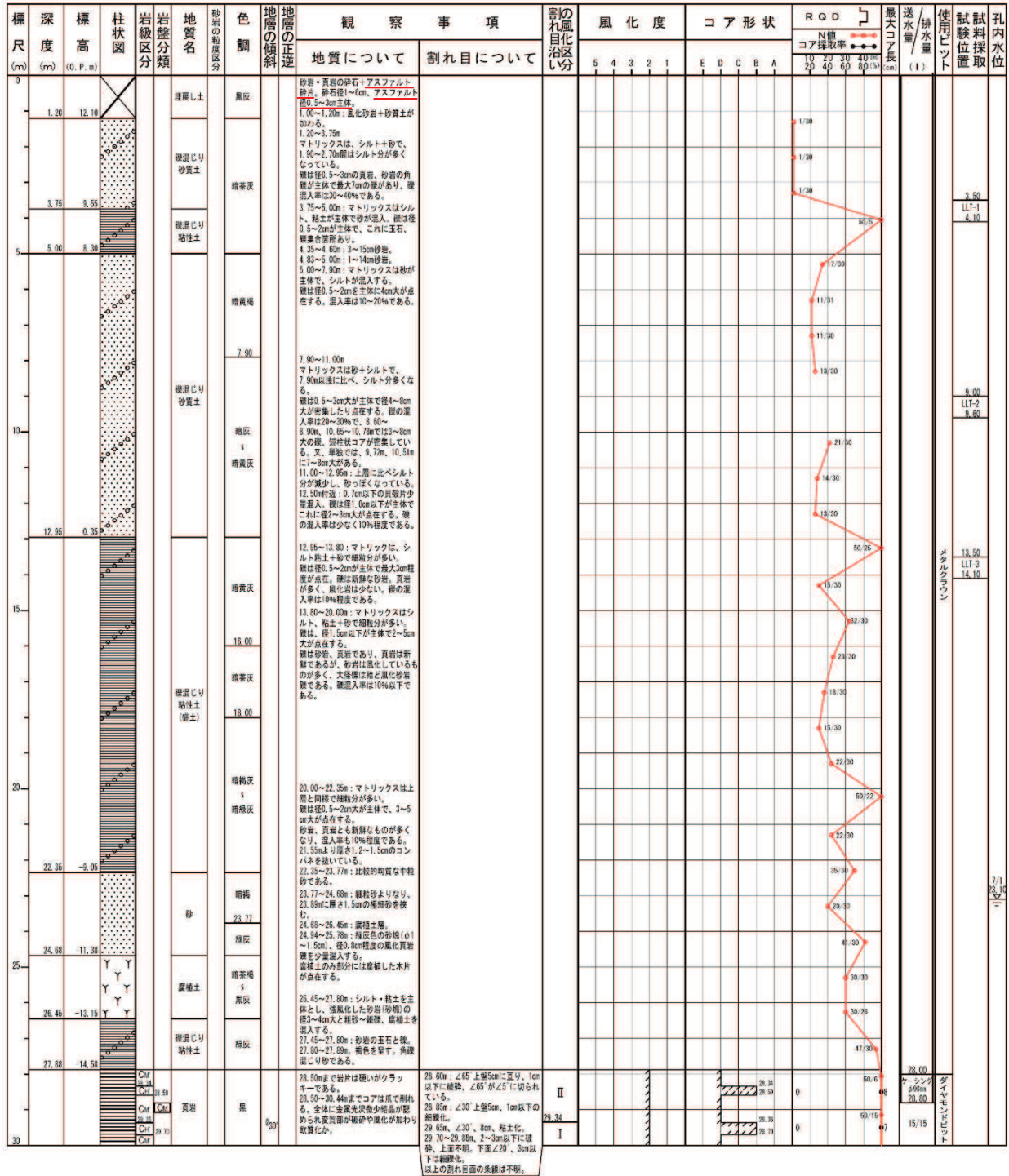


図 1-13(1) ボーリング柱状図 (25BW-10)
(盛土: 深度 0~22.35m, 旧表土: 深度 22.35~27.88m)



図 1-13(2) ボーリングコア写真 (25BW-10)
 (盛土 : 深度 0~22.35m, 旧表土 : 深度 22.35~27.88m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂岩の粒径区分	色調	地層の傾斜	観察事項		割れ目風化区分	風化度	コア形状	R Q D	最大コア長 (cm)	排水量 / 送水量 (%)	使用ビット	試験位置	孔内水位		
									地質について											割れ目について	
									S	4										3	2
0					埋戻し土		黒灰		0.00~1.35m: 径0.5~1.5mmのアスファルト粒石、砂岩、頁岩、最大7cm。												
1.35	11.92				埋戻し土		埋戻し土		1.35~4.00m: マトリックスはシルト+砂、礫は径1~2cmの新鮮頁岩の角礫が多く、5.45mには、6cm大の風化砂岩、粘土塊がある。埋戻し率は10%程度と少ない。												
4.00					埋戻し土		埋戻し土		4.00~10.61m: マトリックスは、砂+シルト+粘土で礫は径0.5~2.0mmの風化砂岩が多く、SPFでは礫を挟んで貫入している。7.65m: 径6cm大の新鮮な砂岩がある。又、礫の少ない部分では、粘土分が多く、10cm大で所々に認められる。埋戻し率は10%程度と少ない。												
10.61	1.96				埋戻し土		埋戻し土		10.61~10.96m: 暗褐色、明灰色を呈する粘性土を挟む。												
11.29					砂礫		砂礫		11.29~14.54m: マトリックスは、細砂+細礫で頁岩片を多量に混入する。礫は径0.5~2cm大の砂岩、頁岩を主体とし、これに径1~7cm大の角石を混入し、角石は、砂岩の玉石、頁岩「コンクリート塊」を混入する。11.29~11.53m: 埋戻し土。11.53~11.64m: 砂岩。11.64~12.13m: コンクリート片。12.13~12.50m: 砂岩。12.50~13.63m: コンクリート塊。全体での埋戻し率は40~50%である。												
14.54	-1.27				埋戻し土		埋戻し土		14.54~19.96m: マトリックスは、砂を混入するシルト質粘土である。礫は径0.5~2cm大が全体で最大2cmを所々混入。礫は風化砂岩、新鮮な頁岩・砂岩である。埋戻し率は、14.54~18.00m、18.00~19.96m間で20~30%と多いが、それ以外では10~20%と少なく、マトリックス部が10~15cmで礫を含まない部分と互層状に入っている所もある。												
19.96	-6.69				埋戻し土		埋戻し土		19.96~22.00m: 中砂主体で上部に粗砂を混入する。												
22.00					砂		砂		22.00~24.20m: 細砂~中砂で、上部にシルト分を他と比べ多く含む。												
24.20					埋戻し土		埋戻し土		24.20m: 埋戻し土で中砂を混入する。ルーズで24.45~25.00m間、コア採取時落下、回収。												
25.25	-11.98				埋戻し土		埋戻し土		25.25~26.74m: 所々に緑灰色粘土層を挟む。												
26.74	-13.47				埋戻し土		埋戻し土		26.74~27.40m: 径1~2cm、最大7cmの砂岩混入。												
27.40	-14.13				埋戻し土		埋戻し土		26.74~27.40m: 径0.5~3cm、最大5cmの砂岩を40~50%で混入する。27.40m: 埋戻し土。粘土分を混入し砂分少ない。礫の径、量とも上部と差はない。												
28.63	-15.36				埋戻し土		埋戻し土		28.63m: やや硬質な塊状砂岩で新鮮で硬い。												
29.04					埋戻し土		埋戻し土		29.04~29.63m: 低角度割れ目でコアは25~7cmの短柱状を呈す。												

図 1-14(1) ボーリング柱状図 (25BW-11)

(盛土: 深度 0~19.96m, 旧表土: 深度 19.96~28.63m)



図 1-14(2) ボーリングコア写真 (25BW-11)
 (盛土 : 深度 0 ~ 19.96m, 旧表土 : 深度 19.96 ~ 28.63m)

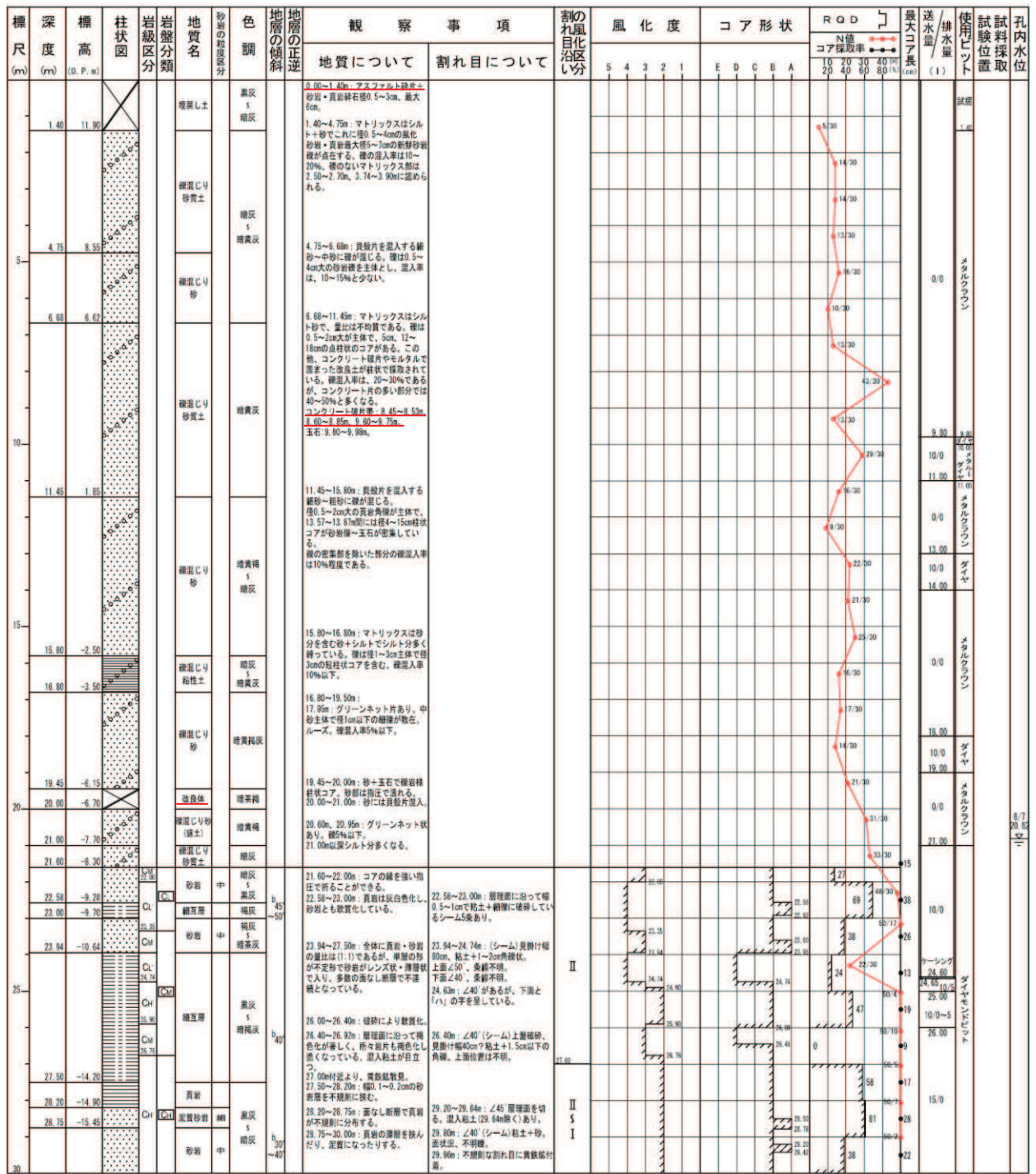


図 1-15(1) ボーリング柱状図 (25BW-12)

(盛土: 深度 0~21.00m, 旧表土: 深度 21.00~21.60m)



図 1-15(2) ボーリングコア写真 (25BW-12)
 (盛土：深度 0～21.00m, 旧表土：深度 21.00～21.60m)

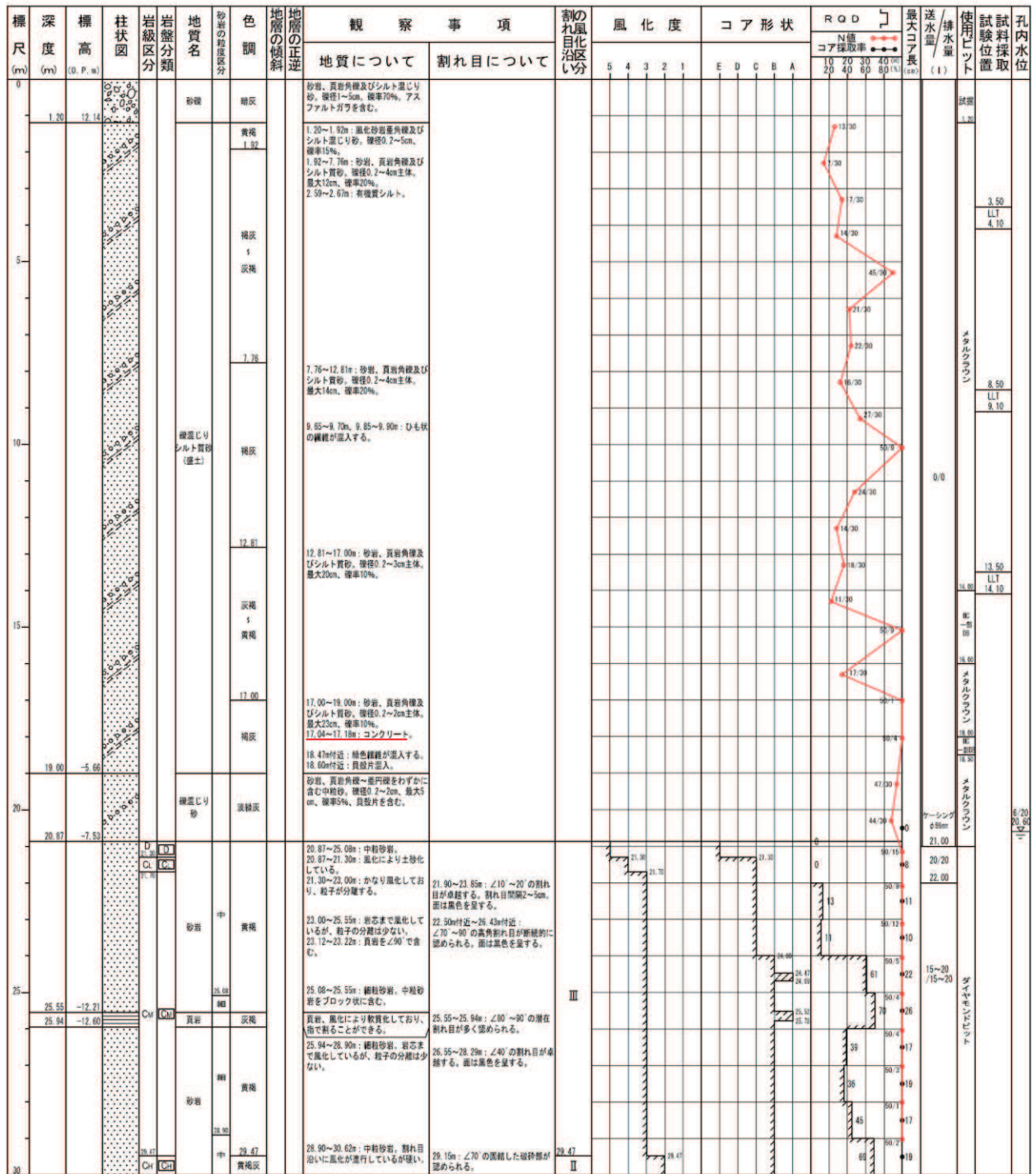


図 1-16(1) ボーリング柱状図 (25BW-13)

(盛土: 深度 0~19.00m, 旧表土: 深度 19.00~20.87m)

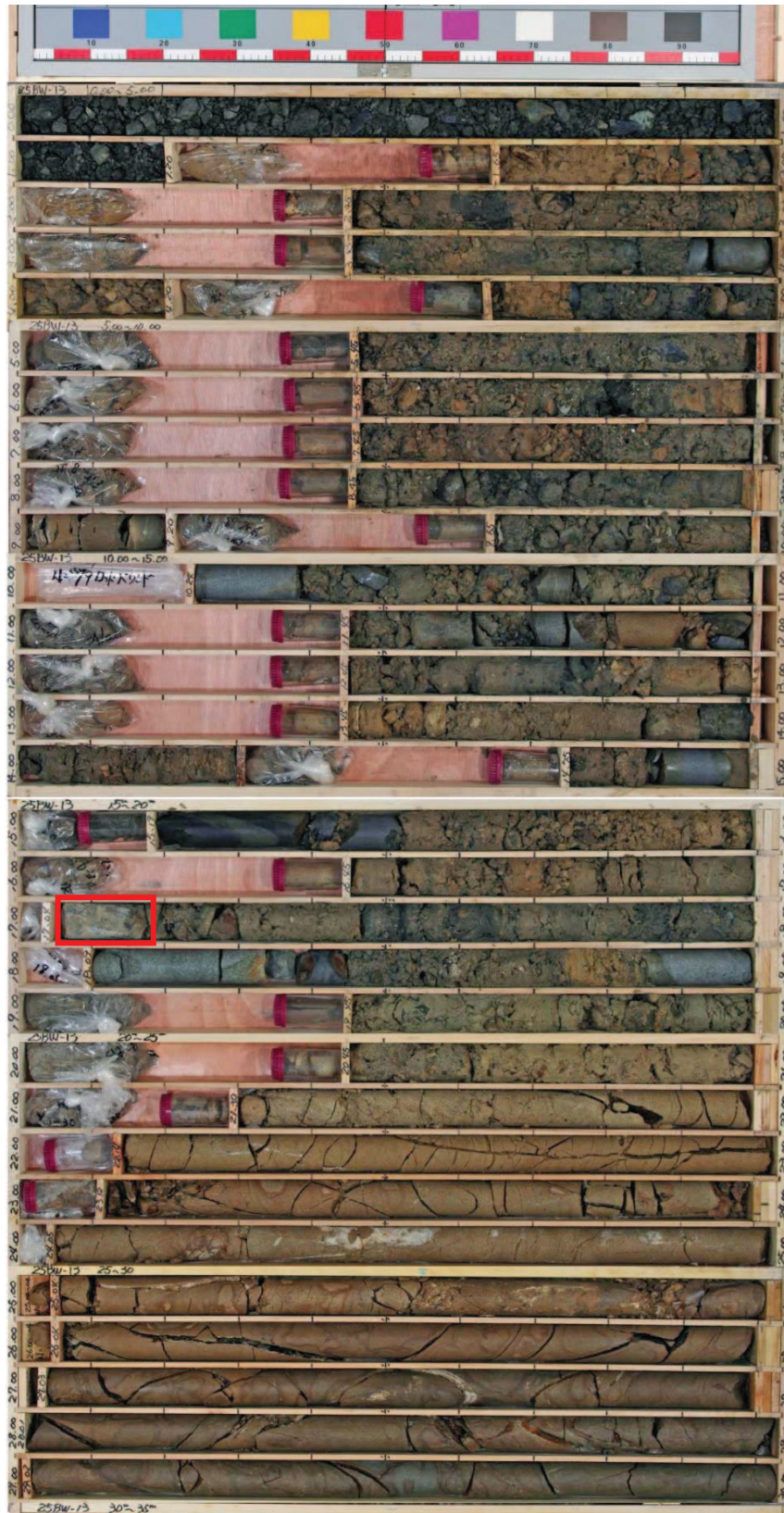


図 1-16(2) ボーリングコア写真 (25BW-13)
 (盛土：深度 0～19.00m, 旧表土：深度 19.00～20.87m)

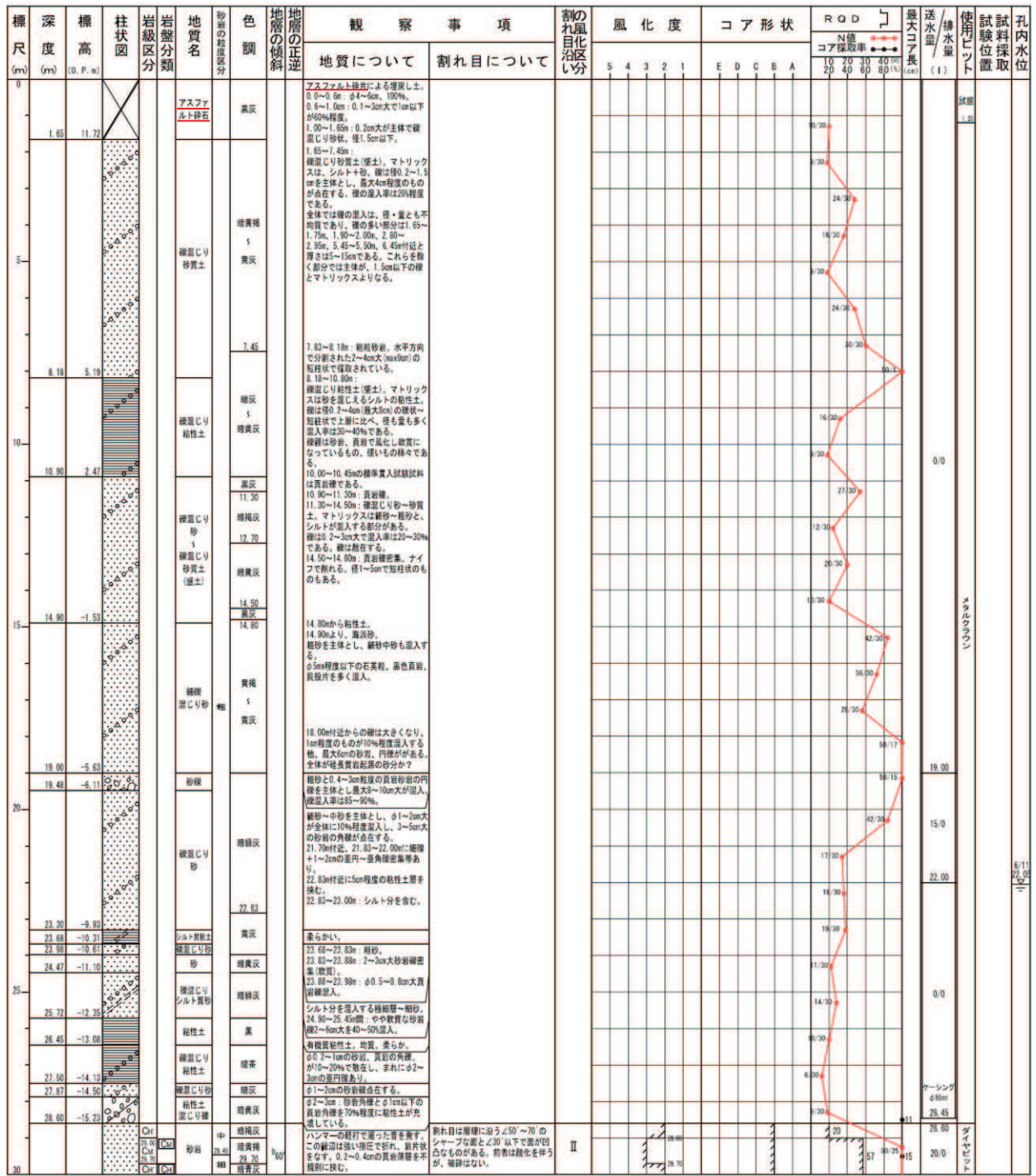


図 1-17(1) ボーリング柱状図 (25BW-14)

(盛土: 深度 0~14.90m, 旧表土: 深度 14.90~28.60m)



図 1-17(2) ボーリングコア写真 (25BW-14)
 (盛土：深度 0～14.90m, 旧表土：深度 14.90～28.60m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂質の粒徑区分	色調	地層の正逆	観察事項		割の れ目 風化 区 分	風化度	コア形状	R O D N値 コア採取率	最大 コア 長 (m)	送水 量 / 排水 量 (l)	使用 ビット	試験 位置	孔内 水位			
									観 察 事 項													
									地質について	割れ目について												
												5	4	3	2	1	E	D	C	B	A	
0					埋戻し土		黒灰		0.00~1.55m: アスファルト砕石 砂岩層厚1~5cm主体。													
1.55	11.71				埋戻し土		黒灰		1.55~10.00m: マトリックスは砂質 粘土を主体とし、これに粘土や砂を 多量に含む部分があり、全体に不均質 である。 隙は径1~2cmの風化砂岩や頁岩が 散在し、加えて径2~5cm、最大7cm の砂岩層が混入する。 3.00~3.25mに緑灰色を呈し、径1~ 2cmの砂岩層が存在する。 3.00m付近、地にくらべて、含水量 多い。 隙の混入率は20~30%である。													
10.00	3.26				埋戻し土		黒灰		10.00~10.45m: 径1~2cmの角礫を 主体とする。 10.30m以降: シルト分を混入。隙の 混入率は30~40%。 10.45~11.00m 10.45~10.50m間コンクリート状赤 砂岩、頁岩、石英を主体とする。角 礫層が柱状で採取。これは手で持 つと塊が分離する。人為的に風化し たものか。 11.30mより砂分が多くなる。 11.81~11.81m: 念板の縦線あり。 11.30mより、径は1~2cmが主体で これに3~4cmの角礫が存在する。 最大は14.45~14.80mに砂岩の粗石 あり 隙の混入率は30~40%で、12.00~ 12.70m間は10~20%と少ない。 15.00~16.80m: マトリックスはシ ルト混じり砂で、隙は径1~3cmで 最大8cm、全体に混入量は少なく、 5~10%である。 16.80~17.80m: マトリックスは風 化砂岩層状砂で、これに同質の砂岩 層厚7.5~2cmが存在する。 割れている。 17.80~21.82m: マトリックスは、 砂+シルト+粘粒が混入し、隙が径 1~2cmで全体に入る。所々に5~ 8cmの角礫、短柱状の新鮮な砂岩、 頁岩がある。 隙の混入率は以下の遊離ゾーンや 砕石を併せて20~25%である。 19.77~19.95m: 2~8cm大遊離。 21.60~21.82m: 22cm大砕石。													
15.00	-1.74				埋戻し土		黒灰		21.82~25.71m間: 色調の異なる均 質な砂層を主体とし、これにシルト の薄層を挟む。 地と隙を含まないが、23.52~ 23.50m間には、0.5~2cm大の頁岩片 がある。													
25.00	-12.45				埋戻し土		黒灰		25.45~25.71m: 暗茶灰色の有機質 シルトの薄層と径1.5~2.5cm大の角 礫状砂岩を混入。 25.71~30.00m: 粘土質シルトを主 体とし、26.45m以降、砂や径1.5cm 以下の隙を混入する。 全体に含水量が少ない。 26.45~26.57m、27.46~28.95mは全 体に砂岩層厚は0.5~1.5cmの 風化砂岩層、灰白色シルト岩層が5 ~10%で混入する。 28.00m: SPT試験3cm大の砂岩層混 入。 28.00m: SPT試験、砂岩層混入。 29.30m以降: 褐色を呈す砂塊が、 隙状~扁平状(厚さ1cm以下)に混入 する。													
30					粘土質 シルト (盛土)		黒灰															

図 1-18(1) ボーリング柱状図 (25BW-15) (盛土: 深度 0~30.00m)



図 1-18(2) ボーリングコア写真 (25BW-15) (盛土：深度 0～30.00m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂岩の粒徑区分	色調	地層の正逆	観察事項		割のれ目風化区分	風化度	コア形状	R Q D	最大コア長 (cm)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位
									地質について	割れ目について									
	1.65	11.66			埋戻し土				0.00~1.65m: アスファルト汚染及び砂岩角礫主体、径0.5~4cm主体、最大5cm、細粒分は中~粗粒砂、礫率90%。										
					埋戻し土				1.65~4.95m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~5cm主体、最大3cm、礫率10%、粘性あり。										
					埋戻し土				4.95~6.50m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~5cm、礫率15%。										
					埋戻し土				6.50~7.00m: 頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~2.5cm、礫率5%、粘性あり。										
					埋戻し土				7.00~7.43m: 頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.2~3cm、礫率15%、粘性低い。										
					埋戻し土				7.43~9.30m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~2cm主体、最大1cm、礫率10%、粘性あり。										
					埋戻し土				9.30~10.41m: 砂岩・頁岩角礫及びシルト質中粒砂。礫径0.5~5cm主体、最大5cm、礫率30%、粘性低い。										
					埋戻し土				10.41~13.45m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~5cm、礫率10%、頁岩を多く含む、粘性低い。										
					埋戻し土				13.45~18.45m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~4cm主体、最大1cm、礫率15~20%、頁岩を含む、粘性あり。										
					埋戻し土				18.45~20.74m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~5cm主体、最大1cm、礫率20%、頁岩を少量含む、粘性低い。										
					埋戻し土				20.74~23.00m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~6cm、礫率10%、粘性あり。										
					埋戻し土				23.00~24.70m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.5~4cm、礫率20%、粘性低い。										
					埋戻し土				24.70~27.88m: 砂岩・頁岩角礫を含むシルト質中粒砂。礫径0.2~3cm主体、最大10cm、礫率15~15%、粘性あり。										
					埋戻し土				27.88~30.00m: 砂岩・頁岩角礫及びシルト質中粒砂。礫径0.2~6cm、礫率40~50%、粘性低い。										

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O. P. m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂岩の粒徑区分	色調	地層の正逆	観察事項		割のれ目風化区分	風化度	コア形状	R Q D	最大コア長 (cm)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位
									地質について	割れ目について									
	31.05	-17.80			砂礫 (盛土)				30.00~30.00m: 砂岩・頁岩角礫及びシルト質中粒砂。礫径0.5~5cm主体、最大3cm、礫率50%、粘性低い。	31.52~32.61m: $\angle 30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ の割れ目主体。面は赤褐色に酸化している。									
					砂礫 (盛土)				30.88~31.05m: 細粒分は黄褐色砂シルト。	32.61~32.85m: $\angle 30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ の割れ目主体。面は黒色を呈する。									

(深度 33m 以深には岩盤が連続しており、ここではこの区間の柱状図とコア写真を割愛)

図 1-19(1) ボーリング柱状図 (25BW-16) (盛土: 深度 0~31.05m)



図 1-19(2) ボーリングコア写真 (25BW-16) (盛土：深度 0～31.05m)

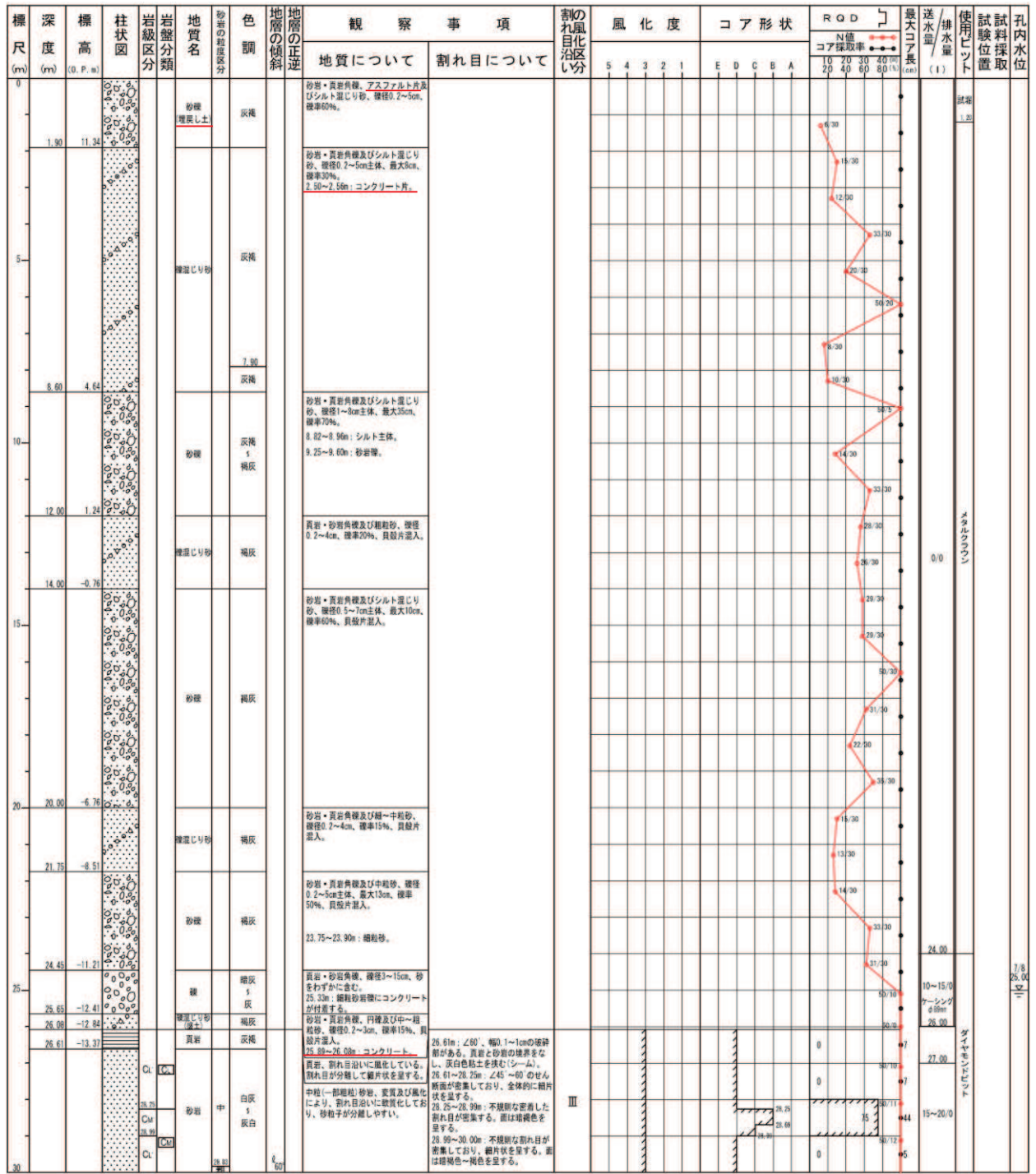


図 1-20(1) ボーリング柱状図 (25BW-17) (盛土: 深度 0~26.08m)



図 1-20(2) ボーリングコア写真 (25BW-17) (盛土：深度 0～26.08m)

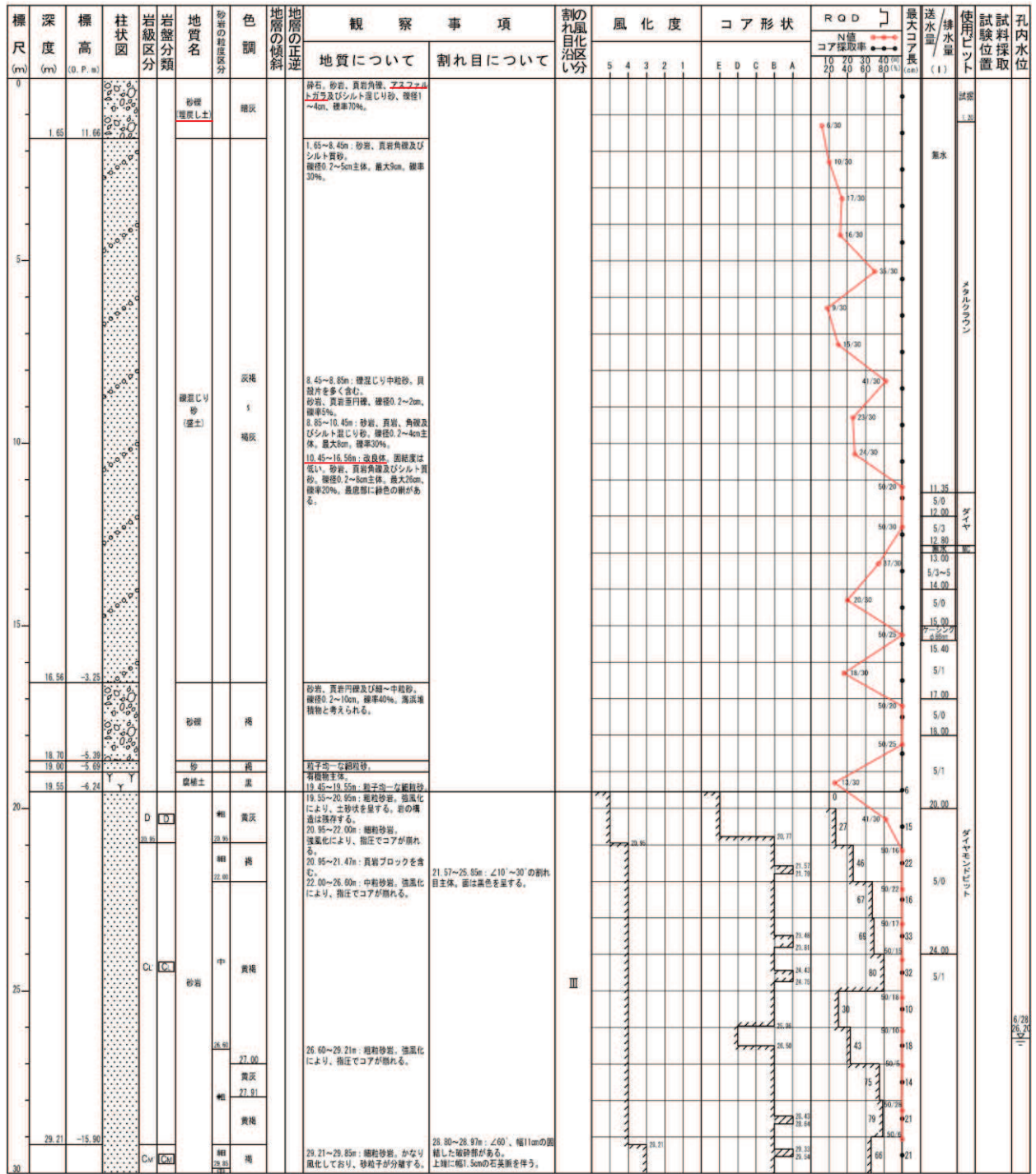


図 1-21(1) ボーリング柱状図 (25BW-18)

(盛土: 深度 0~16.56m, 旧表土: 深度 16.56~19.55m)



図 1-21(2) ボーリングコア写真 (25BW-18)
 (盛土：深度 0～16.56m, 旧表土：深度 16.56～19.55m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O.P.m)	柱状図	岩盤分類	地質名	色調	地層の傾斜	観察事項		割れ目風化区分	風化度	コア形状	R Q D N値 コア採取率	最大コア長 (m)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	孔内水位		
								地質について	割れ目について											
0	0.35	12.87			埋戻し土			0.15~0.15m 砕石、径1~3cm												
					硬質土			0.15~0.30m アスファルト砕石												
					硬質土			0.35~1.50m												
					硬質土			0.35~3.40m マトリックスは砂+シルトで全体に砂が多いが、シルト分の多い箇所もある。礫は、径0.5~2cmが主体で、径3~9cmが存在する。2.00~2.50mに長さ3~5cmの砂岩質~長柱状コアあり。礫の混入率は20~30%である。												
					硬質土			3.62~6.25m マトリックスはシルトを主体として砂・粘土が入る。礫は、砂岩・頁岩の風化岩が多い。径0.5~2.5cmが主体で、径5cmの砂岩質~長柱状コアあり。礫の混入率は10~20%である。												
					硬質土			6.25~7.80m 径0.2~2.5cm、最大3cmの短柱状コアで断片的な頁岩・砂岩と、風化砂岩よりなる砂にシルト分が入る。径0.5~6.7cm、6.80~6.93m、7.45~7.50mに断片的な頁岩を主体で構成している。礫の混入率は20~30%である。												
					硬質土			7.80~8.54m 径0.5~1.5cmの頁岩・砂岩質が主体で混入率は10%程度である。												
					硬質土			8.54~8.74m 砂礫径0.2~1.5cmの頁岩・砂岩質に最大4cmの砂岩質3cmの頁岩が混入する。マトリックスは砂+シルト・粘土であるが、径0.74mはシルト分が多い。												
					硬質土			8.74~9.10m 礫+土の混合物。												
					硬質土			9.10~9.20m コンクリート片あり												
					硬質土			9.20~9.54m 礫の混入率は10~20%程度である。												
					硬質土			9.54~15.20m マトリックスは断片分を混入する中砂~細砂で、これに径0.2~2.5cmの砂岩・頁岩を主体とし、径3~7cmの風化砂岩・頁岩・新鮮な砂岩が混入する。他、10~18cmの玉も認められる。又、12.75~13.80mには所々粘土塊が1~3cmで認められる。礫の混入率は30~40%である。玉石は10.85mにφ13cm、13.85mにφ10cm、14.00mにφ10cmがある。												
					硬質土			14.80~15.00m 断片の多いコンクリート塊、硬質土質砂岩土状。												
					硬質土			15.20~16.45m 砂。												
					硬質土			16.45~16.90m 径5cmの砂岩・頁岩角礫2ヶあり。												
					硬質土			16.90~18.00m 細砂~細礫。												
					硬質土			18.00~18.40m 細砂で均質。												
					硬質土			18.40~18.90m 径0.4~0.8cmの風化頁岩・褐色砂礫点を主とする土。												
					硬質土			18.90~21.40m 変質と風化が混在して、粘土が混み砂質粘土状を呈する。S.P.試験に岩盤の組織が現れているが認められる。18.90mから石英岩が混入する。石英は1cm程度の角ばったものが多く、かつ混在している部分もあり、石英岩と混在する。												
					硬質土			21.40m以下、土質に風化しているため割れ目不明である。												
					硬質土			21.40~22.00m ∠75°以上の高角度が観察される。												
					硬質土			22.00~25.50m ∠10°~30°の低角度が観察される。これに∠70°~80°の高角度が所々入る。割れ目は強く風化している。これらの割れ目も所々も条線や縫目は認められない。												
					硬質土			25.00~25.70m へび肌砂岩に見える部分がある。												
					硬質土			25.70~27.13m へび肌砂岩。コアは上層より硬くなるが、表面をこするとわずかに粒子が分離し、コアの縁が容易に折れ、指で潰れる。												
					硬質土			27.13~28.45m ラミナもしくは潜在的クラックに沿って幅1~10cmの条線状の石英~10cmで構成されている。一部ハンマーの軽打で金属音を混じえ、硬くなっている。												
					硬質土			27.13m、27.60m、厚さ数mmの頁岩の層を挟む。												
					硬質土			28.45~30.35m 明確な縦溝の部分と、面が縦状に配列する部分が存在する。												

図 1-22(1) ボーリング柱状図 (25BW-19)

(盛土：深度 0~15.20m, 旧表土：深度 15.20~16.90m)

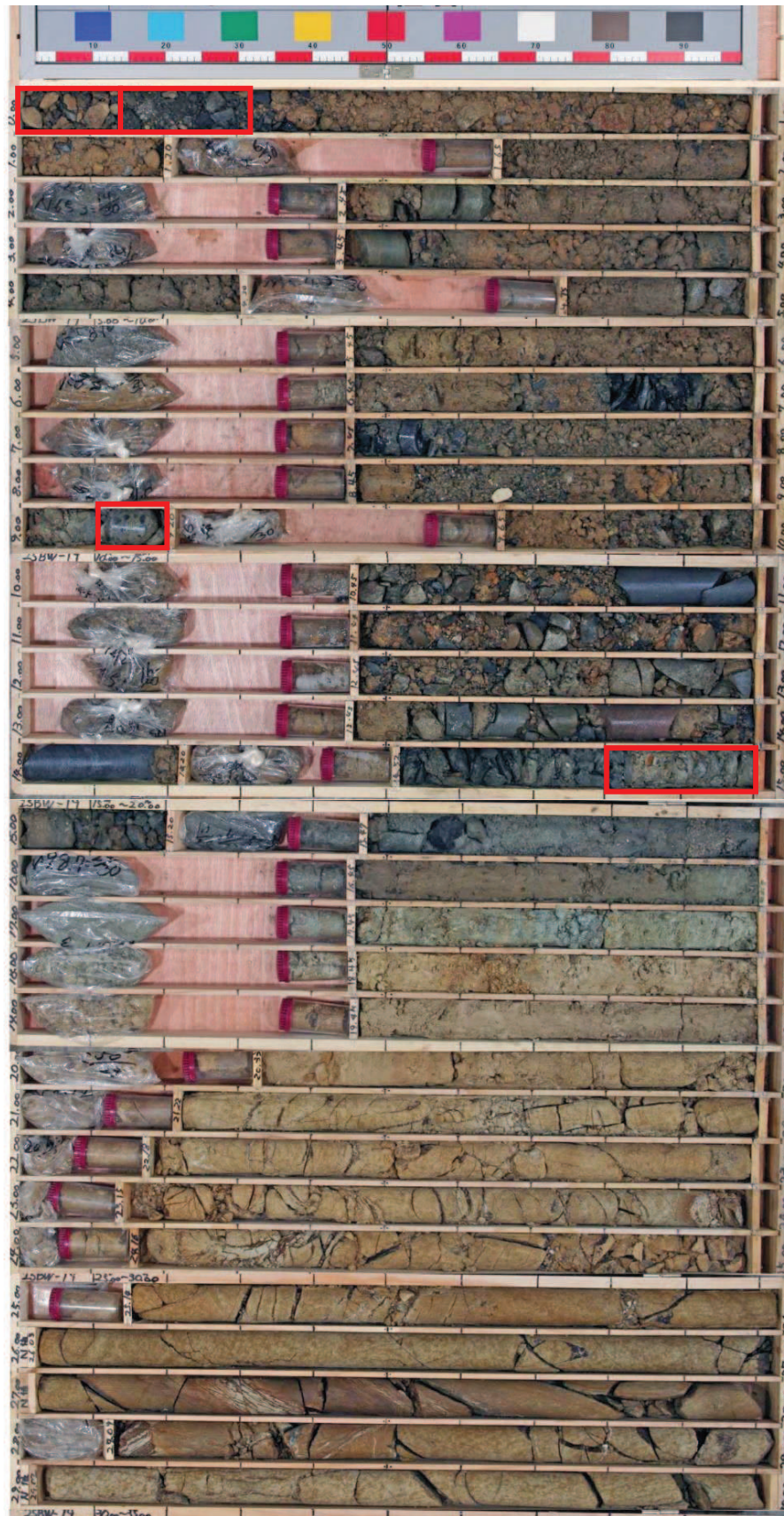


図 1-22(2) ボーリングコア写真 (25BW-19)
 (盛土：深度 0～15.20m, 旧表土：深度 15.20～16.90m)

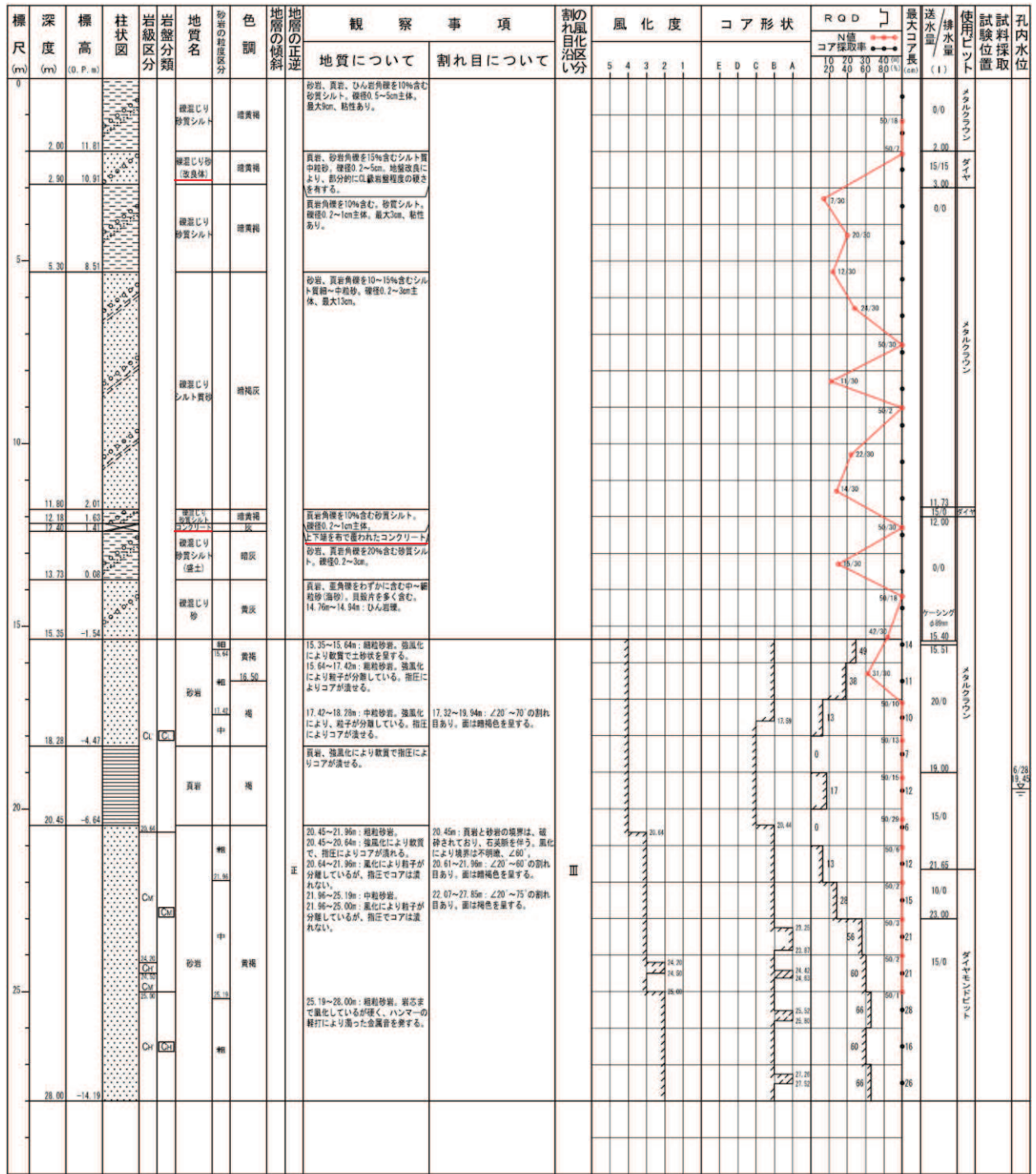


図 1-23(1) ボーリング柱状図 (25BW-20)
(盛土: 深度 0~13.73m, 旧表土: 深度 13.73~15.35m)



図 1-23(2) ボーリングコア写真 (25BW-20)
 (盛土：深度 0～13.73m, 旧表土：深度 13.73～15.35m)

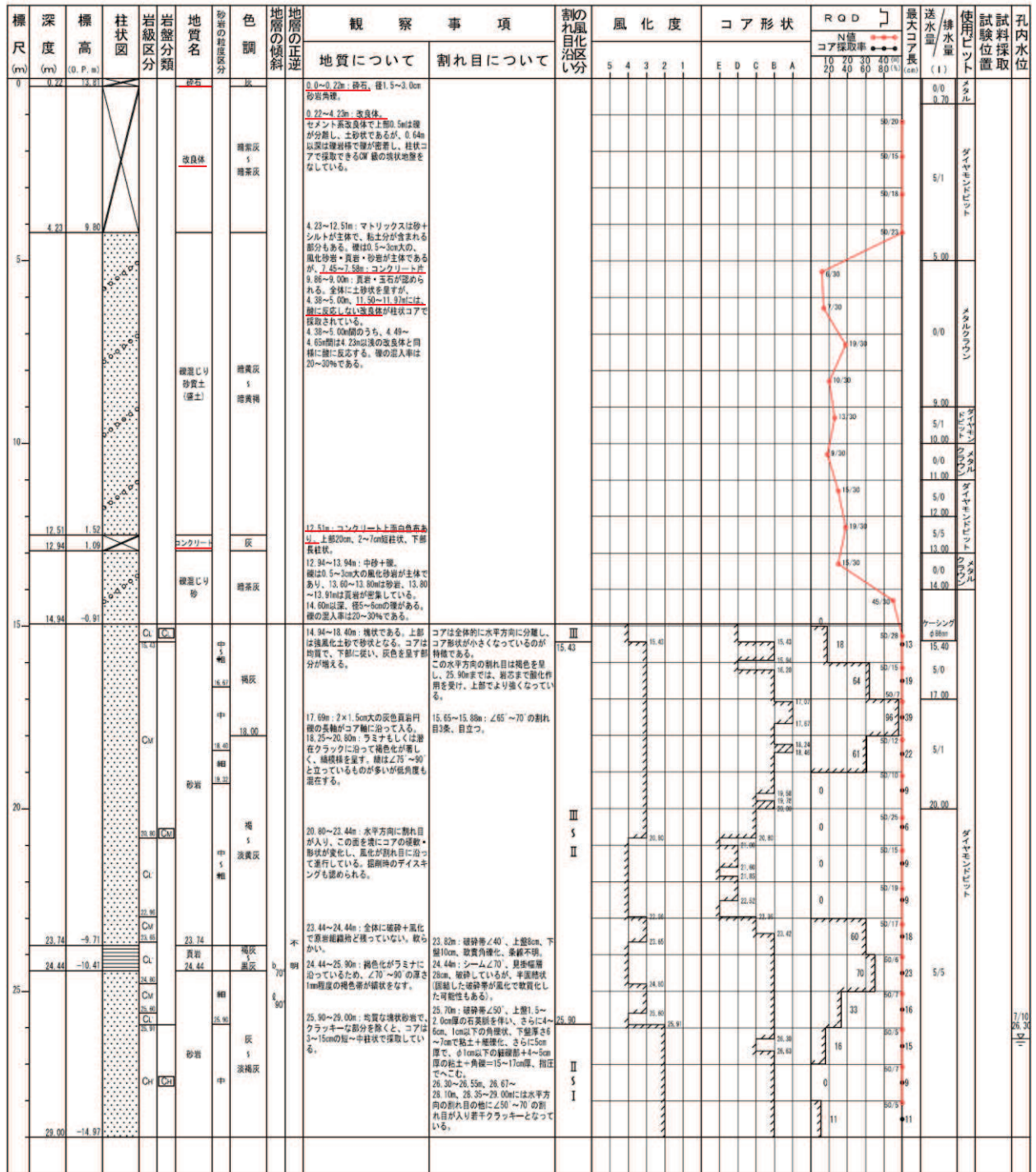


図 1-24(1) ボーリング柱状図 (25BW-21)

(盛土: 深度 0~12.94m, 旧表土: 深度 12.94~14.94m)



図 1-24(2) ボーリングコア写真 (25BW-21)
 (盛土：深度 0～12.94m, 旧表土：深度 12.94～14.94m)

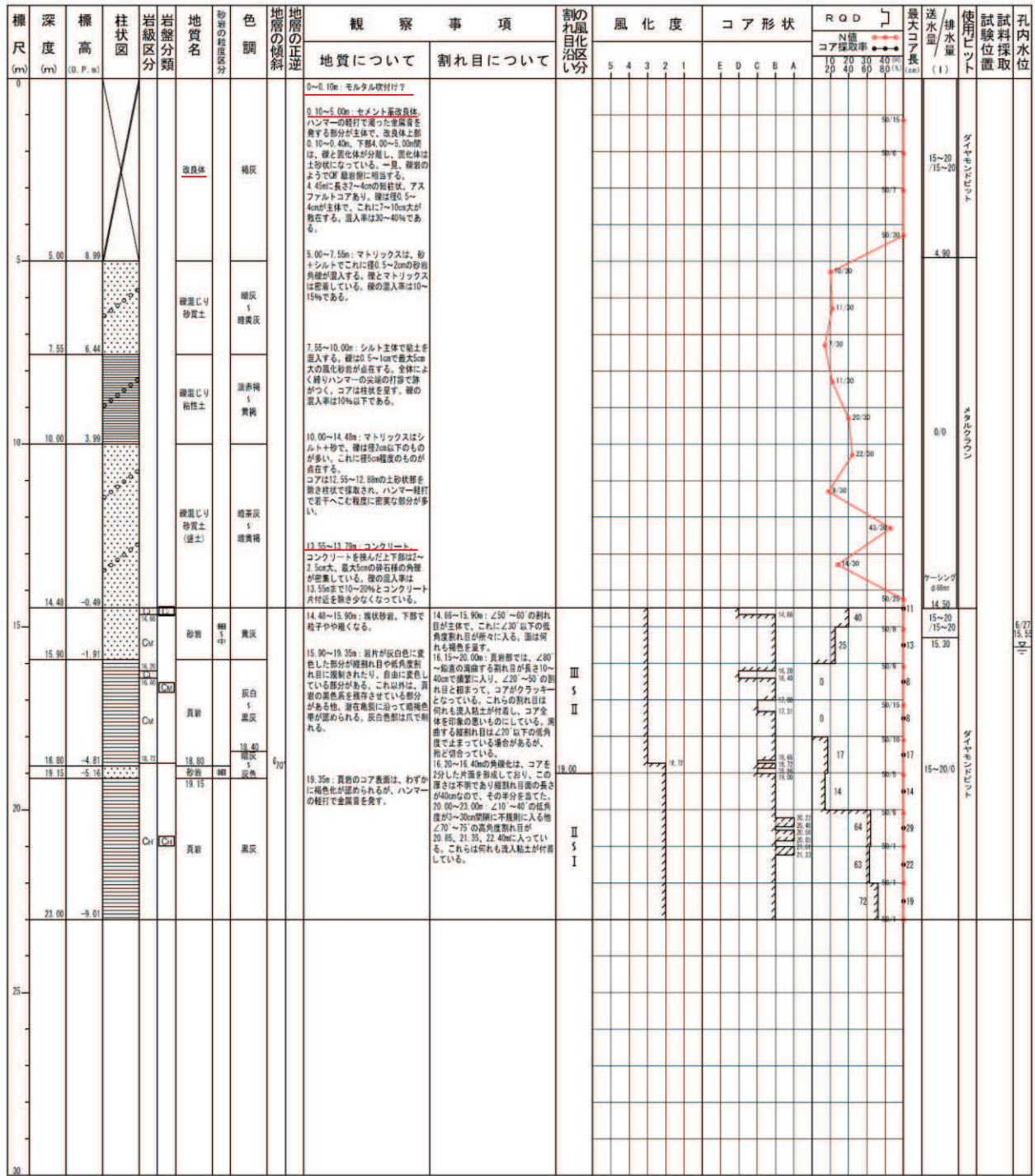


図 1-25(1) ボーリング柱状図 (25BW-22) (盛土: 深度 0~14.48m)



図 1-25(2) ボーリングコア写真 (25BW-22) (盛土：深度 0～14.48m)

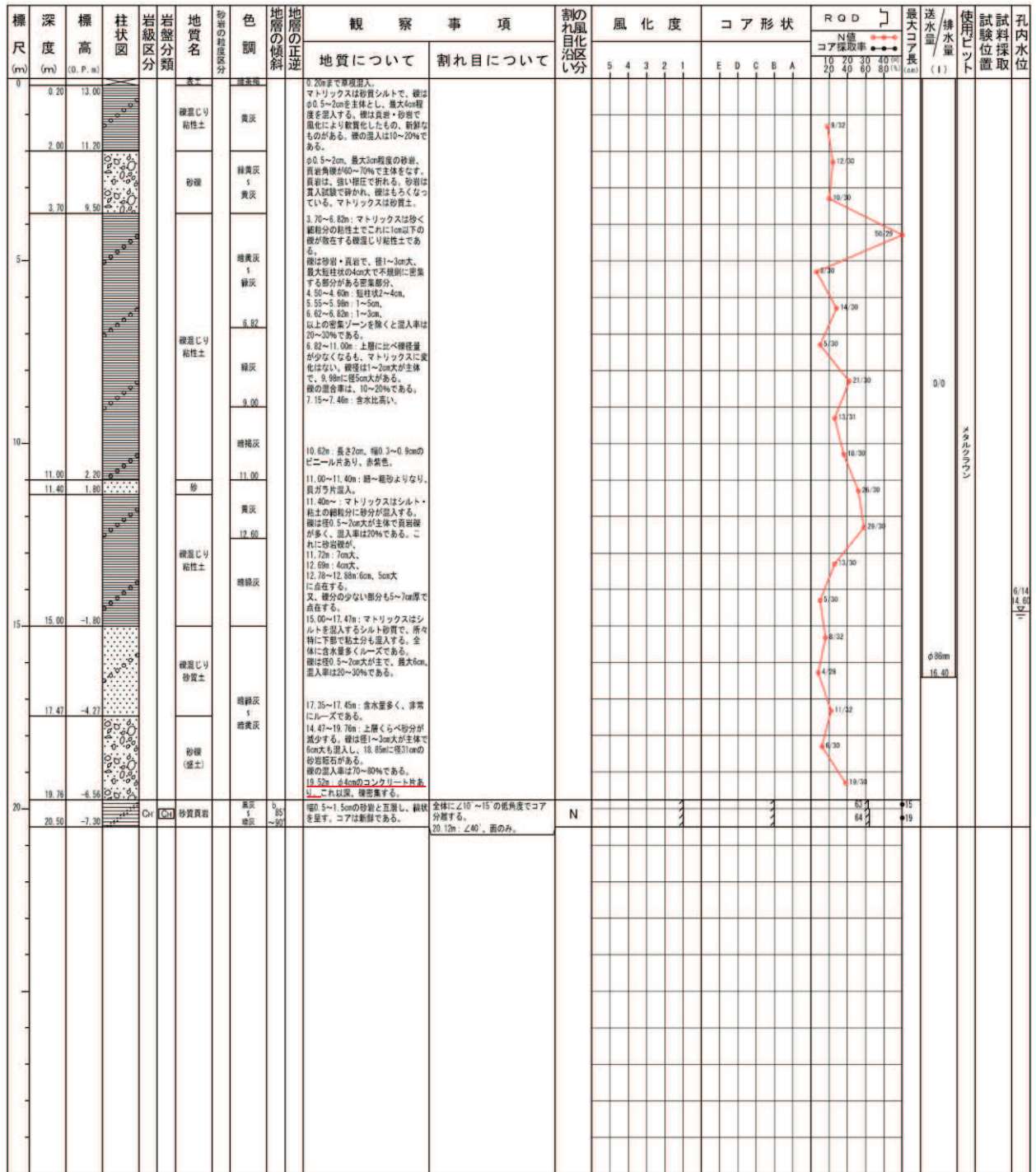


図 1-26(1) ボーリング柱状図 (25BW-23) (盛土: 深度 0~19.76m)



図 1-26(2) ボーリングコア写真 (25BW-23) (盛土：深度 0～19.76m)

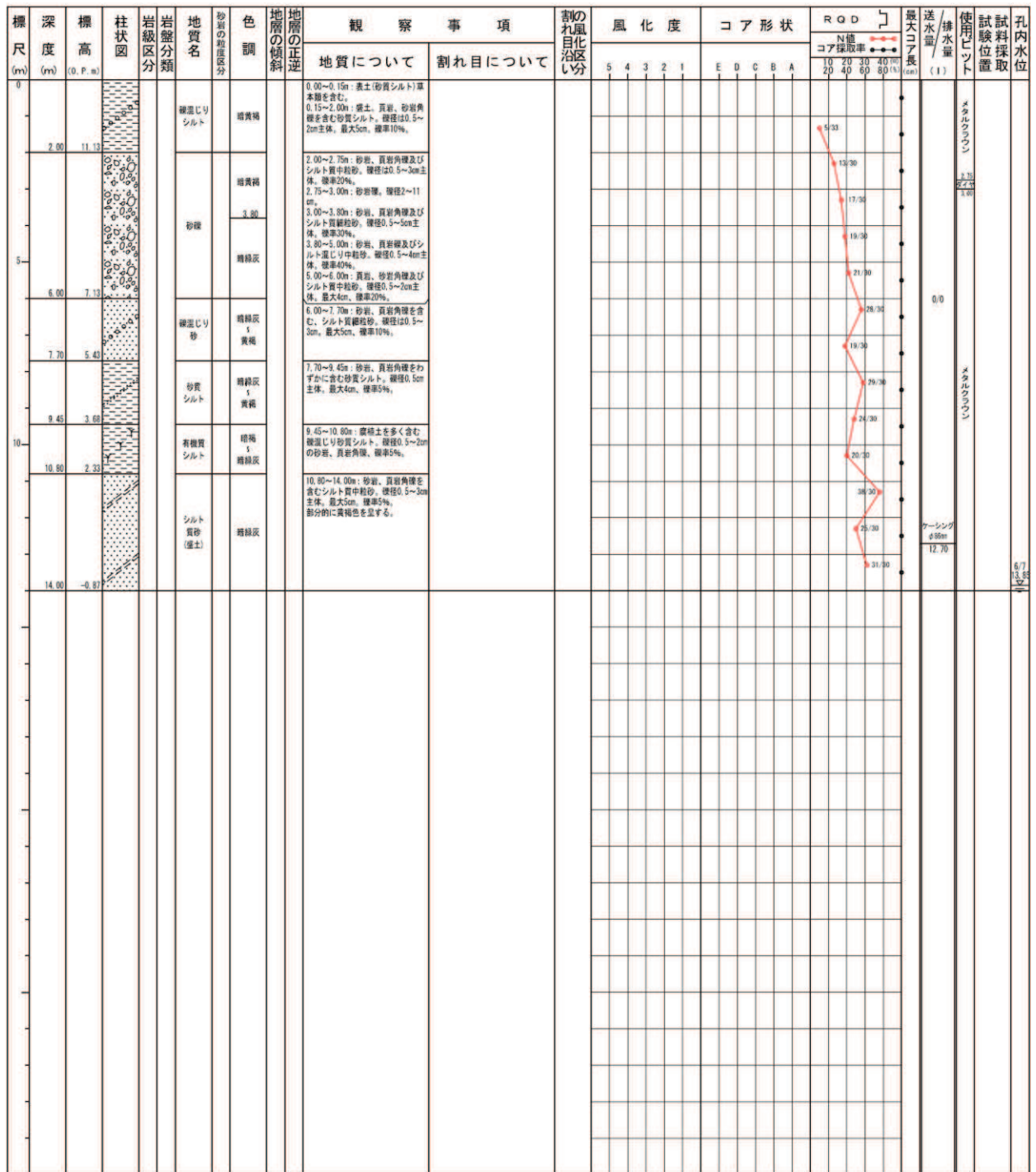


図 1-27(1) ボーリング柱状図 (25BW-24) (盛土: 深度 0~14.00m)

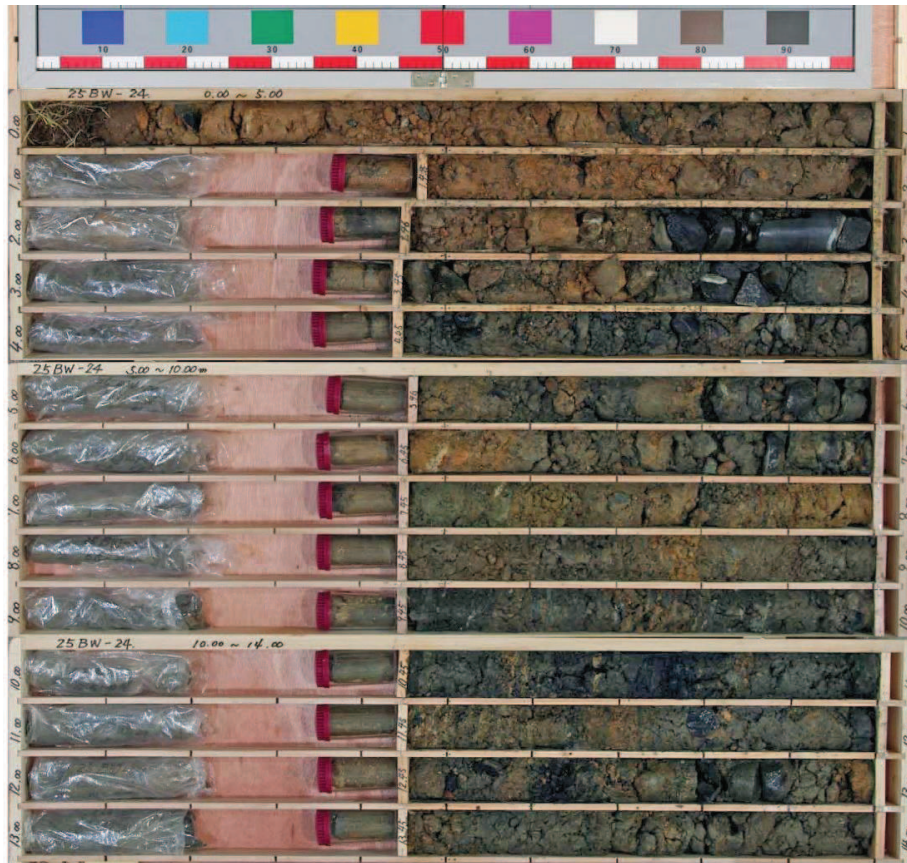


図 1-27(2) ボーリングコア写真 (25BW-24) (盛土: 深度 0~14.00m)

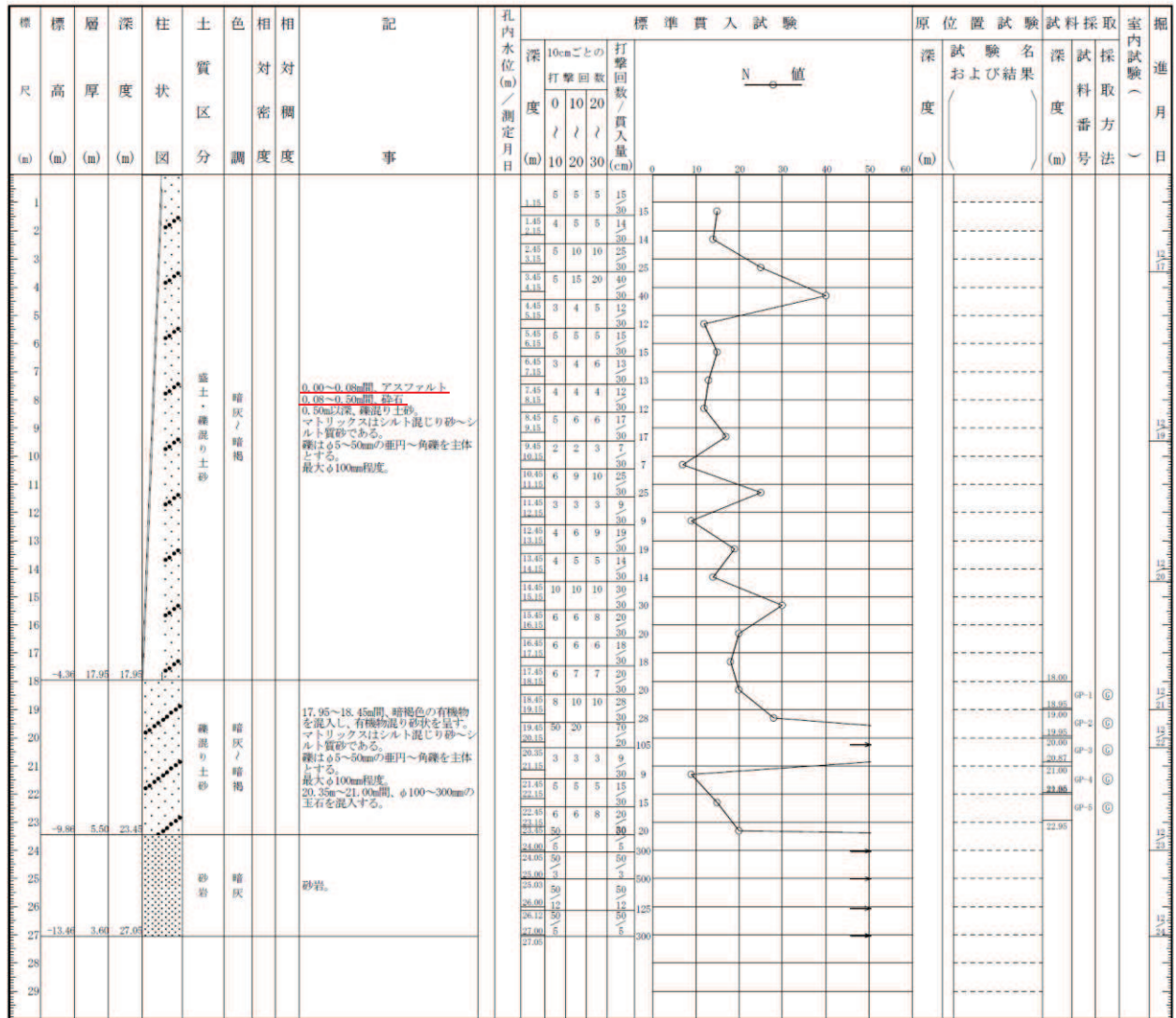


図 1-28(1) ボーリング柱状図 (28QB-1)
(盛土 : 深度 0~17.95m, 旧表土 : 深度 17.95~23.45m)

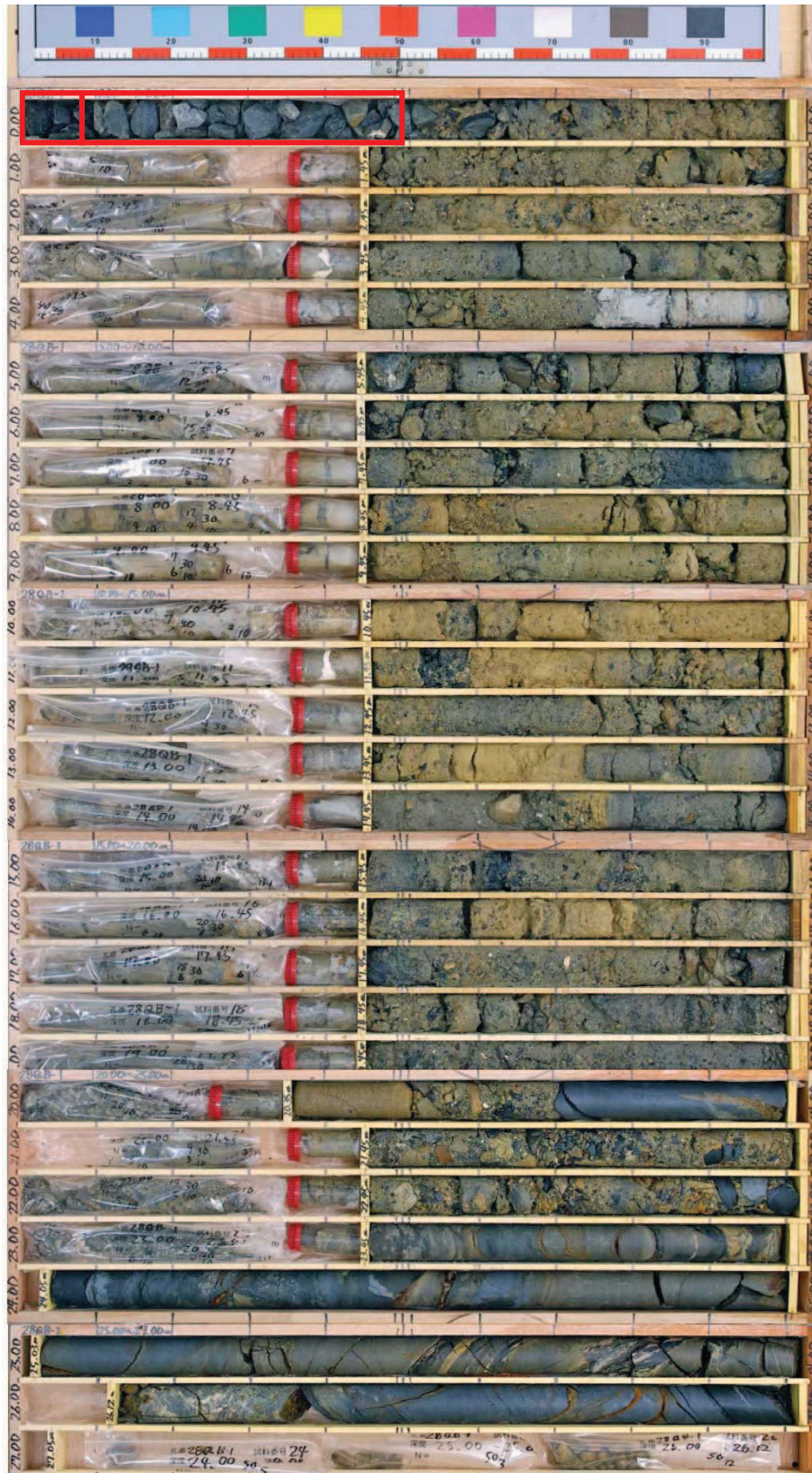


図 1-28(2) ボーリングコア写真 (28QB-1)
 (盛土 : 深度 0~17.95m, 旧表土 : 深度 17.95~23.45m)

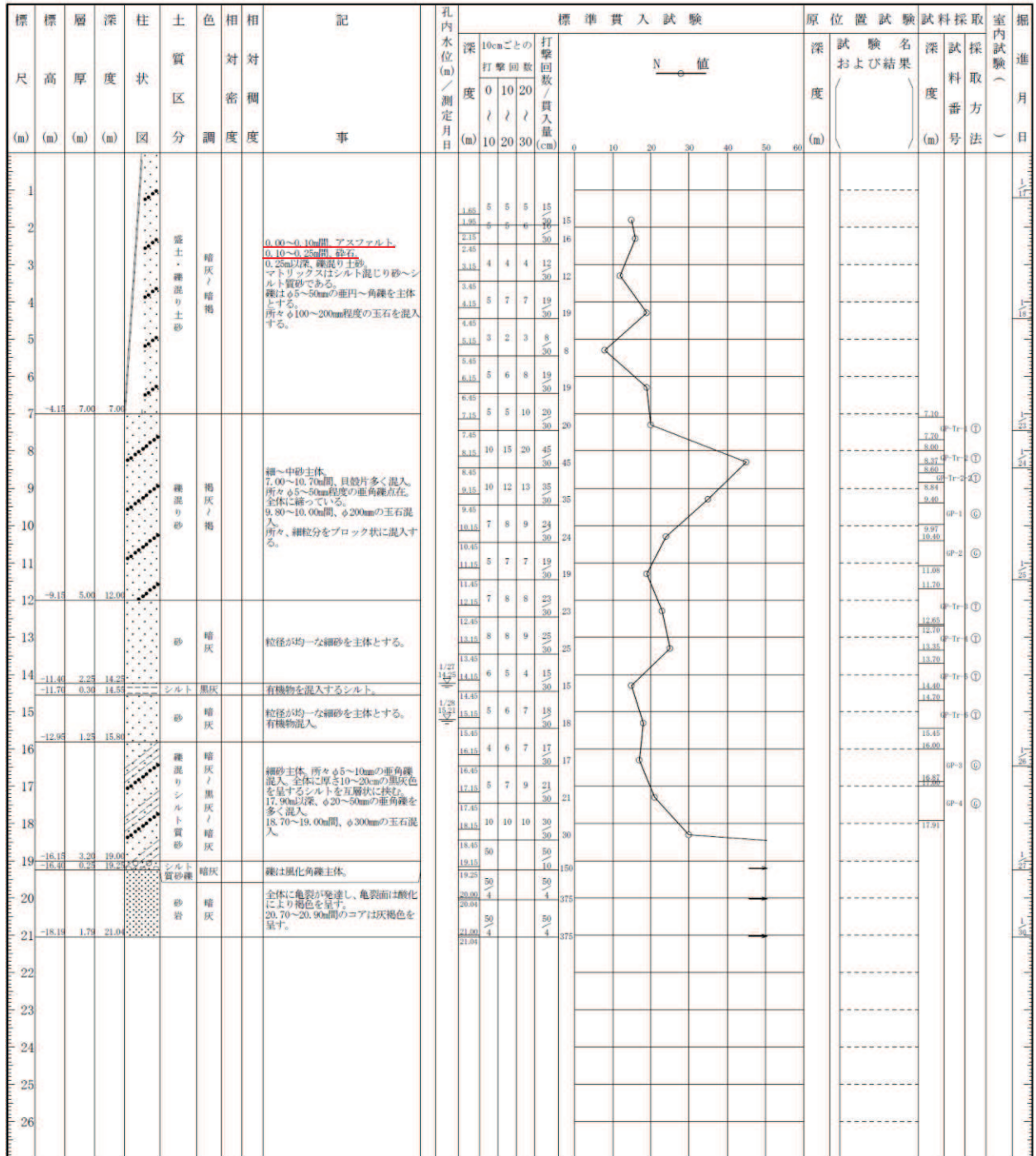


図 1-29(1) ボーリング柱状図 (28QB-2)
(盛土 : 深度 0~7.00m, 旧表土 : 深度 7.00~19.25m)

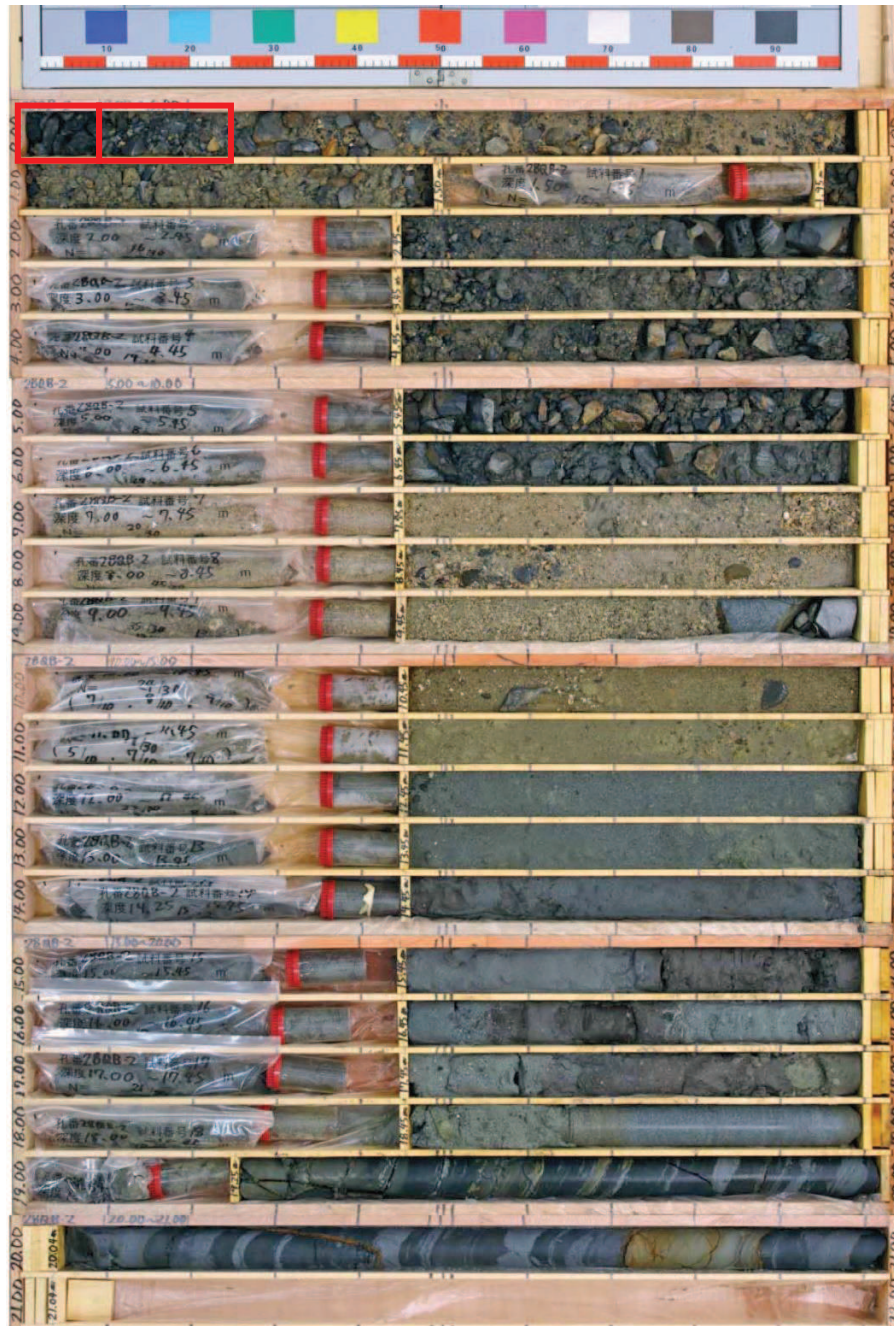


図 1-29(2) ボーリングコア写真 (28QB-2)
 (盛土 : 深度 0~7.00m, 旧表土 : 深度 7.00~19.25m)

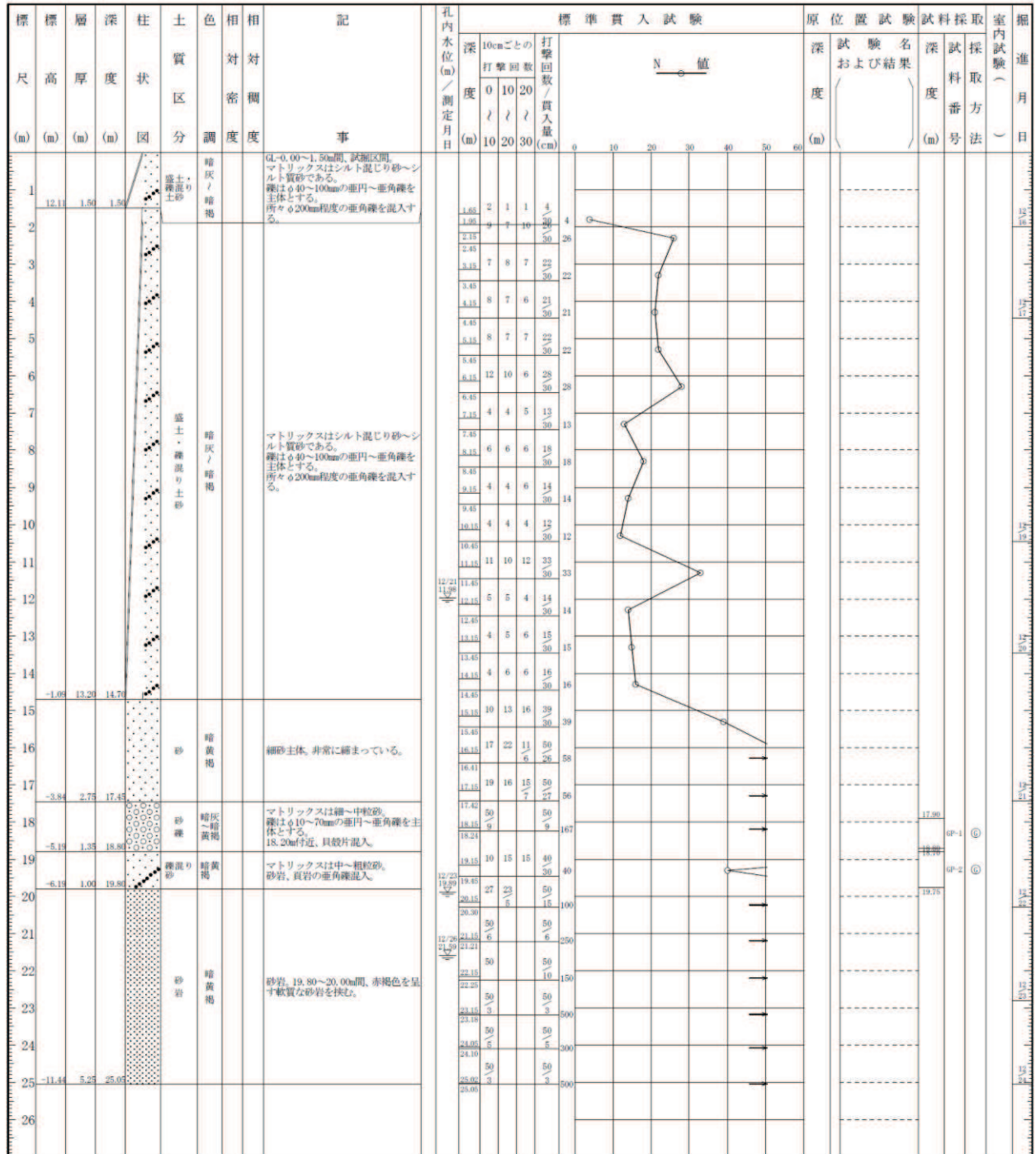


図 1-30(1) ボーリング柱状図 (28QB-3)
(盛土：深度 0~14.70m, 旧表土：深度 14.70~19.80m)

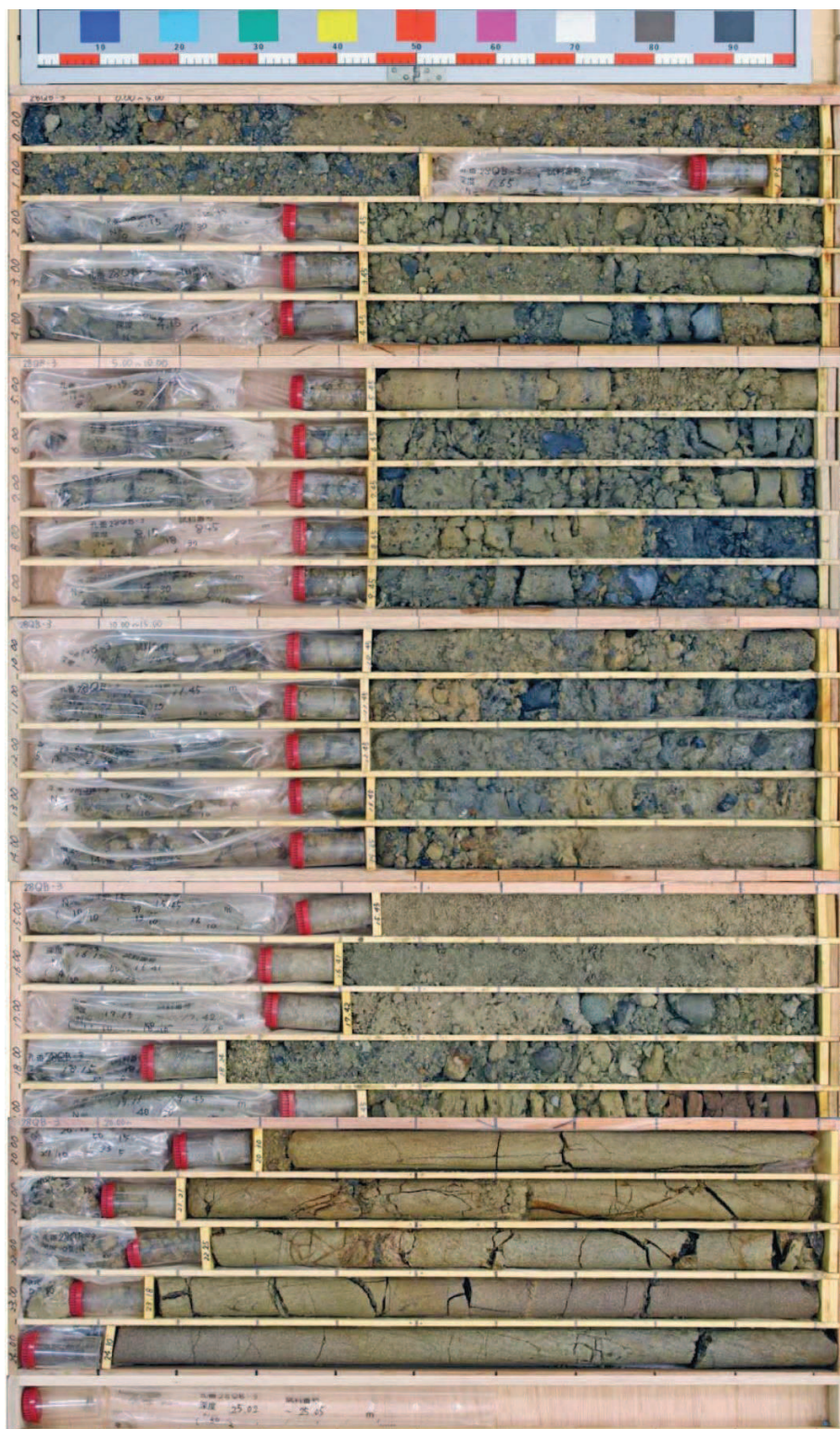


図 1-30(2) ボーリングコア写真 (28QB-3)
(盛土：深度 0～14.70m, 旧表土：深度 14.70～19.80m)